MITSUBISHI ELECTRIC
Changes for the Better

家庭から宇宙まで、エコチェンジ。 eco Changes

三菱 グラフィックオペレーションターミナル GOT2000シリーズ クイックスタートガイド

はじめよう!

Quick Start Guide

GOT の特長

GT Designer3 の特長

機器を揃えよう

STEP1 プロジェクトを作成しよう

STEP2 プロジェクトを転送しよう

STEP3 GOTを使ってみよう

付録

GOT2000
Graphic Operation Terminal

● 安全上のご注意 ●

（ご使用前に必ずお読みください）

システムを設計されるときは，必ず関連マニュアルをお読みいただくとともに，安全に対して十分に注意を払って，正しい取扱いをしていただくようお願いいたします。

【本書の実習を行う上での注意事項】

⚠危険

● 感電事故を起こさないよう，通電中には端子に触れないでください。

● 安全カバーを開けるときは，電源を切るか，十分な安全を確認してから作業してください。

⚠注意

● ユニットを着脱するときは，電源を OFF してから行ってください。
通電中に行うと，ユニットの故障や感電の原因になります。

● 異常が発生した場合は，直ちに使用を中止してください。

【GOT2000 の関連マニュアルについて】

本書では，詳細な情報は，GOT2000 の各マニュアルへ参照させています。

GOT2000 の関連マニュアルは，三菱電機 FA サイト（http://www.mitsubishielectric.co.jp/fa/）からダウンロードできます。

※ 本書は，GT Designer3 (GOT2000) Version 1.117X を使用し説明しています。
お使いのバージョンによっては，表示されるメニューや画面が異なる場合があります。

マークの見方

ポイント　知っておく必要のある内容や注意事項を記載しています。

ヒント　知っておくと便利な内容を記載しています。

参照　参照マニュアルや詳細を記載しているページを紹介します。

目次

GOT の特長 3

1. 高速に処理 4
2. メモリ容量が UP 4
3. マルチタッチ・ジェスチャ機能 4
4. きれいな文字・パーツ 4
5. 充実したラインアップ 4
6. GOT 外観および充実したインタフェース 5

GT Designer3 の特長 6

1. GT Designer3 の画面構成 7
2. GT Designer3 で作成できる画面 8

機器を揃えよう 9

1. GOT を動作させるために必要な機器 9

STEP1　プロジェクトを作成しよう 10

1. プロジェクトを新規作成する 10

1-1.　プロジェクトの新規作成 10

2. オブジェクトを作成する 17

2-1.　運転スイッチの作成 17
2-2.　停止スイッチの作成 21
2-3.　運転中ランプの作成 24
2-4.　数値表示の作成 29

3. 図形を作成する 31

3-1.　図形 (長方形) の作成 31
3-2.　図形 (文字) ①～③の作成 33
3-3.　図形 (文字) ④，⑤の作成 36

4. 画面ジェスチャ機能を設定する 37

4-1. 画面ジェスチャ機能を設定する.....37

5. 作成した画面を確認する 41

5-1. 表示を確認する (画面プレビュー).....41

5-2. データエラーを確認する (データチェック).....44

5-3. 動作を確認する (シミュレータ).....45

6. プロジェクトを保存する 49

6-1. プロジェクトを保存する.....49

STEP2 プロジェクトを転送しよう 50

1. プロジェクトデータを転送する 50

1-1. プロジェクトデータを転送する.....50

2.GOT とシーケンサを接続する 53

2-1. GOT とシーケンサを接続する.....53

STEP3 GOT を使ってみよう 57

1. スイッチの ON/OFF を確認する 57

1-1. スイッチの ON/OFF を確認する.....57

2. 画面ジェスチャ機能を使う 59

2-1. 画面ジェスチャ機能を使う.....59

付録 1 新機能ピックアップ 61

1. 流用作成機能.....61

2. 入力アシスト機能.....63

3. ヘルプ.....64

付録 2 機能アップデート 65

1. 作画ソフトウェアのアップデート 65

付録 3 GOT の機能 66

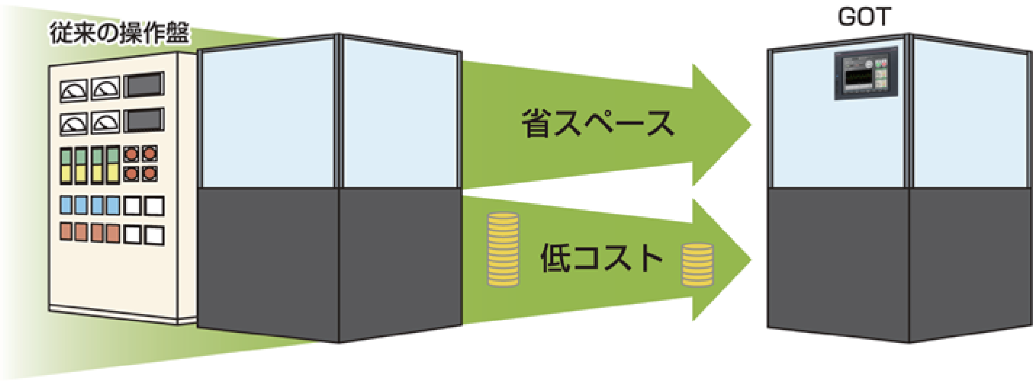
1.GOT の機能一覧 66

付録 4 関連するカタログ・マニュアル一覧 71

GOT の特長

GOT とは，Graphic Operation Terminal（グラフィック オペレーション ターミナル）の略です。

従来，操作盤に取り付けていたハードウェア的なスイッチ，ランプなどをソフトウェアにより実現し，モニタ画面上でこれらの表示・操作が可能なタッチパネル付の表示器です。



GOT 導入のメリット

(1)　操作盤の小形化
ソフトウェアによってスイッチ，ランプなどを実現するため，ハードウェア的な取り付け部品を削減でき，操作盤の小型化が可能です。

(2)　配線でのコストダウン
操作盤での部品と部品の間の配線に相当するものは，ソフトウェアによって実現するため，面倒でコストを要する配線が不要となります。

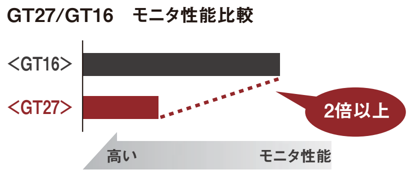
(3)　操作盤の標準化が可能
要求仕様の変更に対しても，ソフトウェアによる設定変更で対応可能のため，操作盤の標準化が可能となります。

(4)　HMI（Human Machine Interface）としての付加価値の追加
スイッチやランプの表示だけでなく，グラフィック表示や，文字表示，アラーム表示などを容易に実現できるため，装置全体の付加価値の向上が可能です。

GOT2000 シリーズの特長は，次のとおりです。

1 高速に処理

GOT1000 シリーズの GT16 モデルと比較して，モニタ性能を 2 倍以上改善しました。
高負荷のかかるロギング，スクリプト，アラーム，デバイスデータ転送などの処理でも， 快適な画面操作が可能です。

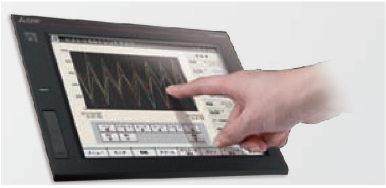


2 メモリ容量が UP

プロジェクトデータの圧縮技術により，SD カードなしで実質 128MB までのプロジェクトデータを使用できます。

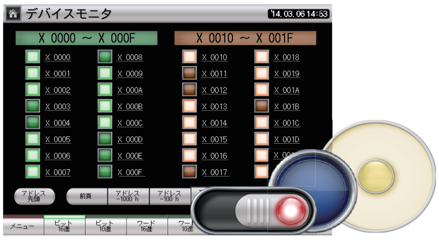
3 マルチタッチ・ジェスチャ機能

ジェスチャ機能で，画面の拡大・縮小やスクロール操作が可能です。



4 きれいな文字・パーツ

拡大，縮小してもきれいなフォントとパーツにより，見栄えのする画面を作成できます。



5 充実したラインアップ

標準モデル（ブラック）のほかに，ホワイトモデルもご用意。お客様の要望にあわせて選べます。
GOT の前面に USB インタフェースのないホワイトモデルでは清掃も容易に。
豊富なラインアップからさまざまな場面で利用できます。

6 GOT 外観および充実したインタフェース

GOT2000 の外観とインタフェースは次のとおりです。

【前面】

人感センサ
人が近づくと自動的に感知して画面を表示します。人がいないとバックライトを消灯することで省エネにも対応できます。
＊GT27(15型,12.1型のみ)

USBデバイス
盤を開けずにデータ転送できます。
＊ホワイトモデルとGT21は背面になります。

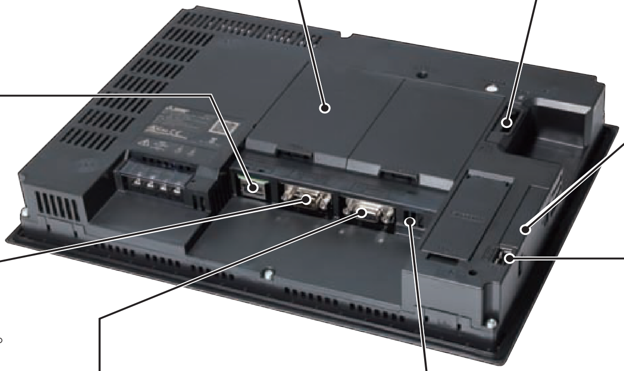
USBホスト
USBメモリで画面データを転送したり，本体のデータを取り出すことができます。USBマウス・キーボードの接続も可能です。
＊GT27，GT25のみ。ホワイトモデルは背面になります。

シンプルなデザイン
様々なシーンと調和する装飾を抑えた直線基調のシンプルデザイン。お客様の装置に高級感を演出します。

2014 iF デザイン賞受賞！
product design award 2014

LEDバックライト
LEDバックライトの採用により見やすく，長寿命です。

【背面】



拡張インタフェース
通信ユニットやオプションユニットを装着できます。
＊GT27，GT25のみ

Ethernet
Ethernetで最大4種類＊の異なるメーカのシーケンサを同時に接続できます。
＊GT21は最大2種類

RS-232
各種FA機器，バーコードリーダ，シリアルプリンタと接続できます。

RS-422/485
多彩なFA機器と接続できます。

USBデバイス
パソコンと接続してデータ転送できます。
＊ホワイトモデルのみ

SDカードスロット
アラームやロギングデータなど大量のデータを保存できます。

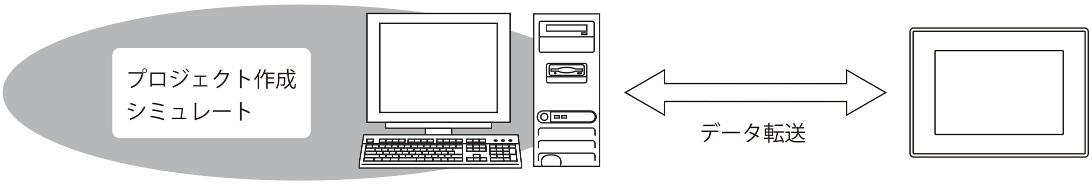
側面インタフェース
無線LAN通信ユニットを装着できます。
＊GT27，GT25のみ

USBホスト
USBメモリを装着し，アラームやロギングデータなどを保存できます。
USBマウス・キーボードの接続も可能です。
＊GT27，GT25のみ

＊写真はGT2712です。

GT Designer3 の特長

GT Designer3 は，GOT2000 シリーズと GOT1000 シリーズ用の画面を作成するソフトウェアです。
プロジェクトの作成，シミュレート，GOT とのデータ転送を行います。



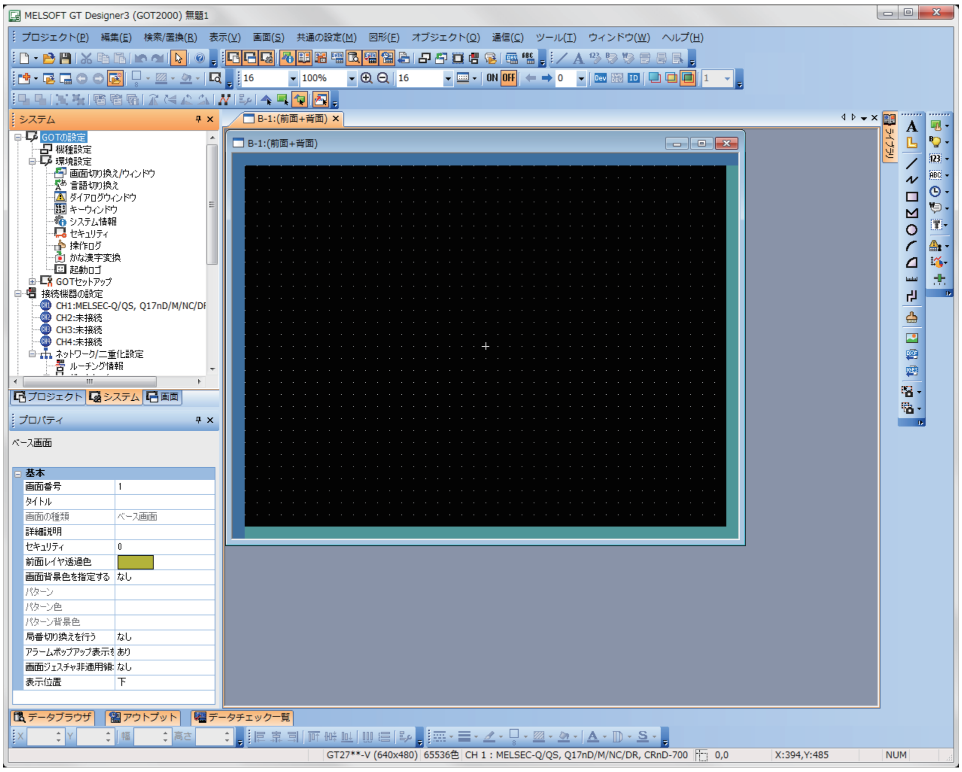
パソコン (GT Designer3)　　　　GOT

GT Designer3 は，下記の 2 つの作画ソフトウェアで構成されています。

- GT Designer3(GOT2000)：GOT2000 シリーズ用の作画ソフトウェア
- GT Designer3(GOT1000)：GOT1000 シリーズ用の作画ソフトウェア

本書では，GOT2000 の画面作成を行いますので，GT Designer3(GOT2000) を使用して説明します。

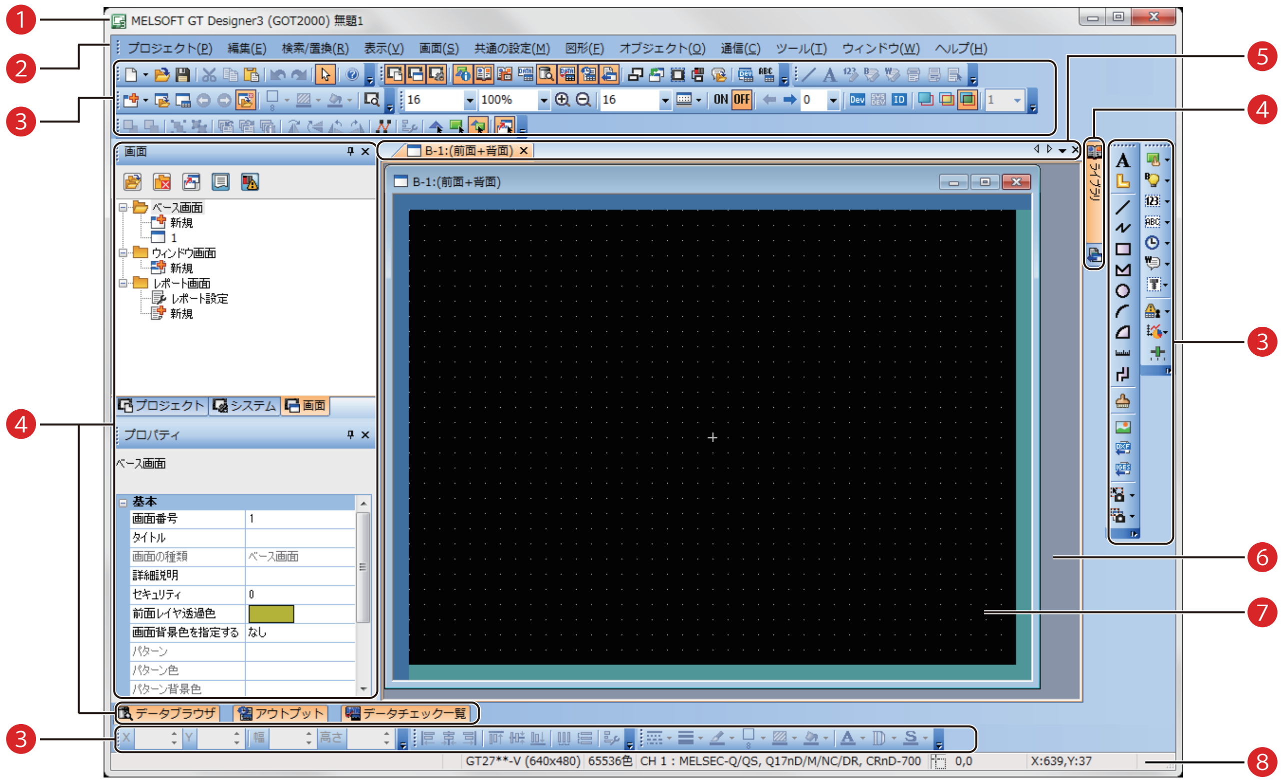
GT Designer3(GOT2000) の画面イメージ



GT Designer3 の特長

1 GT Designer3 の画面構成

GT Designer3 の画面構成です。



①タイトルバー
ソフトウェア名，プロジェクト名，ファイル名が表示されます。

②メニューバー
プルダウンメニューから GT Designer3 を操作できます。

③ツールバー
ボタンなどで GT Designer3 を操作できます。画面の左右上下に移動できます。

④ドッキングウィンドウ
GT Designer3 のウィンドウにドッキングできるウィンドウです。

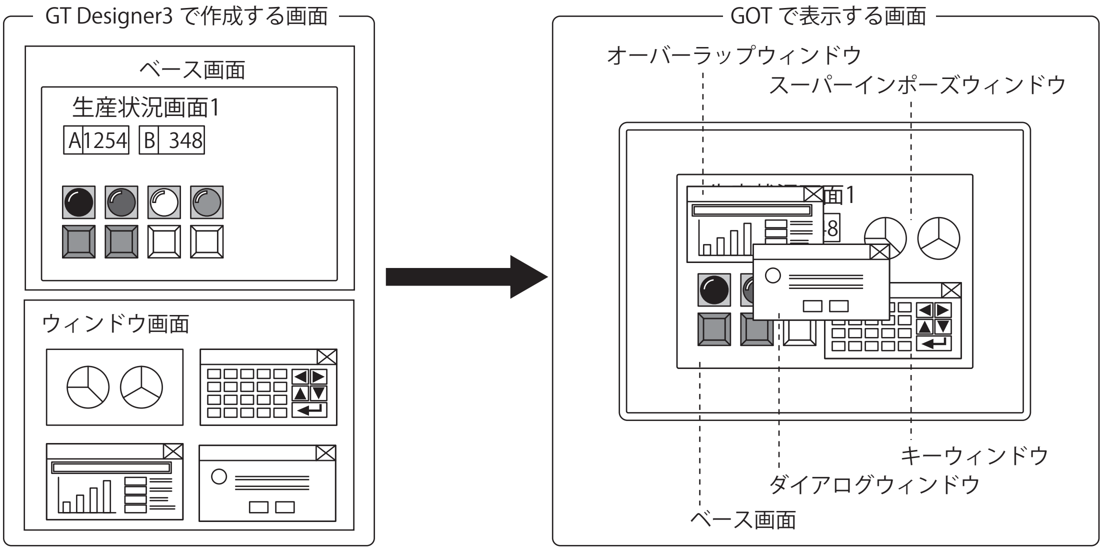
⑤エディタタブ
ワークウィンドウに表示されている画面エディタやウィンドウのタブが表示されます。

⑥ワークウィンドウ
画面エディタ，[環境設定] ウィンドウ，[GOT セットアップ] などが表示されます。

⑦画面エディタ
図形，オブジェクトを配置して，GOT に表示する画面を作成します。

⑧ステータスバー
マウスカーソルの位置，図形，オブジェクトの選択状態に合わせて，情報が表示されます。

2 GT Designer3 で作成できる画面



(1) ベース画面
GOT にベース画面として表示する画面です。
表示するベース画面は，画面切り換えデバイスで制御します。

(2) ウィンドウ画面
GOT にオーバーラップウィンドウ，スーパーインポーズウィンドウ，キーウィンドウ，ダイアログウィンドウとして表示する画面です。

(a) スーパーインポーズウィンドウ
ベース画面上に合成し，ベース画面の一部分として表示するウィンドウです。
同時に 2 枚 (スーパーインポーズウィンドウ 1，2) まで表示できます。
表示するウィンドウ画面は，画面切り換えデバイスで制御します。

(b) オーバーラップウィンドウ
ベース画面の前面にポップアップするウィンドウです。
同時に 5 枚 (オーバーラップウィンドウ 1 ～ 5) まで表示できます。
タッチ操作または表示位置指定デバイスで表示位置を移動できます。
表示するウィンドウ画面は，画面切り換えデバイスで制御します。
(GT21 は，2 枚 (オーバーラップウィンドウ 1，2) まで表示できます。)

(c) キーウィンドウ
数値入力などで入力を行う場合，ベース画面上にポップアップするウィンドウです。
タッチ操作で表示位置を移動できます。
GOT の標準キーウィンドウと，ユーザ作成キーウィンドウがあります。

(d) ダイアログウィンドウ
システムとしてのエラーや警告などを最前面に表示するウィンドウです。
GOT のシステムメッセージも，ダイアログウィンドウに表示されます。
ダイアログウィンドウの表示中は，他の画面を操作できません。
表示するウィンドウ画面は，画面切り換えデバイスで制御します。

(3) レポート画面
レポート機能で出力するための画面です。
GOT で表示する画面ではありません。

1 GOT を動作させるために必要な機器

GOT を動作させるためには，GOT（❶），ケーブル（❷），パソコン・ソフトウェア（❸），接続機器（❹）が必要です。

❶ GOT

GOT2000(GT27)

❷ ケーブル

USBケーブル
(GT09-C30USB-5P)

Ethernetケーブル

❸ パソコン・ソフトウェア

パソコン

GX Works2

GT Designer3(GOT2000)
GT Designer3(GOT2000)ヘルプ

❹ 接続機器

シーケンサ
(QnUDVシリーズ)
※Ethernet内蔵タイプ

参照

作画ソフトウェアのインストール方法は，下記を参照してください。

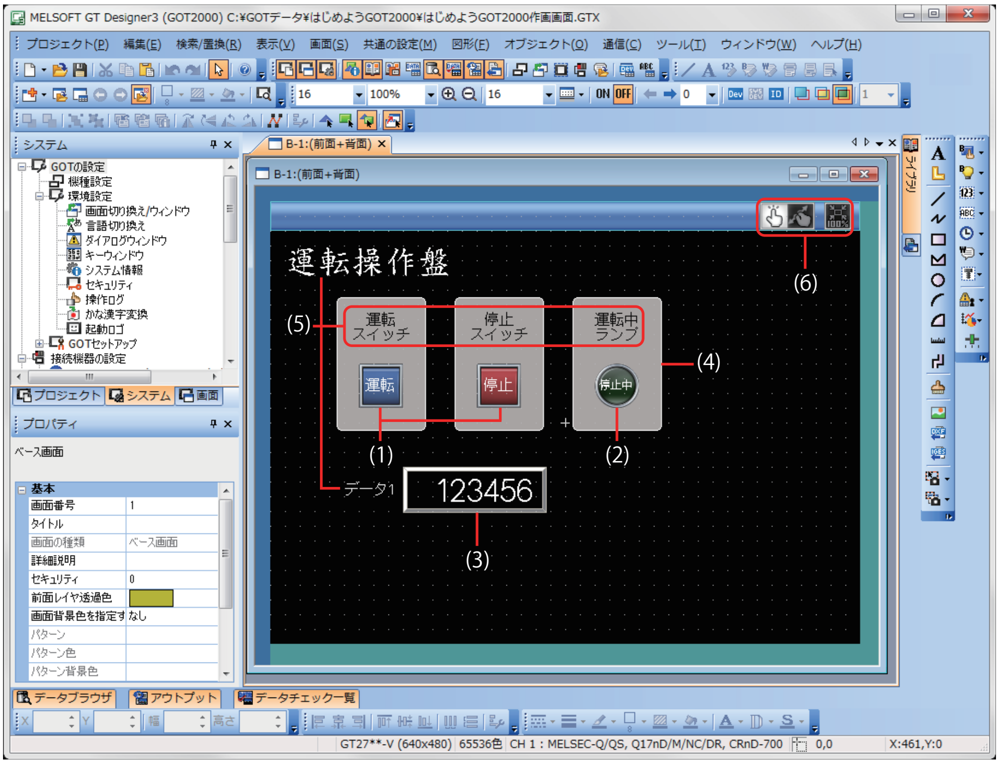
- GT Works3 Version1 インストール手順書 BCN-P5999-0065/0070

GOT と接続機器との接続方法は，下記を参照してください。

- GOT2000 シリーズ接続マニュアル (三菱電機機器接続編)SH-081189

1-1 プロジェクトの新規作成

本書では，下記の画面を作成します。



(1)　運転スイッチ，停止スイッチ
タッチしてシーケンサのビットデバイスの ON/OFF を行います。

➡ 2-1　運転スイッチの作成
2-2　停止スイッチの作成

(2)　運転中ランプ
シーケンサのビットデバイスの ON/OFF によりランプが点灯 / 消灯します。

➡ 2-3　運転中ランプの作成

(3)　数値表示
シーケンサに格納されている値を表示します。

➡ 2-4　数値表示の作成

(4)　図形 (長方形)
長方形を配置して，スイッチやランプを見やすくします。

➡ 3-1　図形 (長方形) の作成

(5)　図形 (文字) ①～⑤
画面，スイッチ，ランプなどの説明用の文字を表示します。

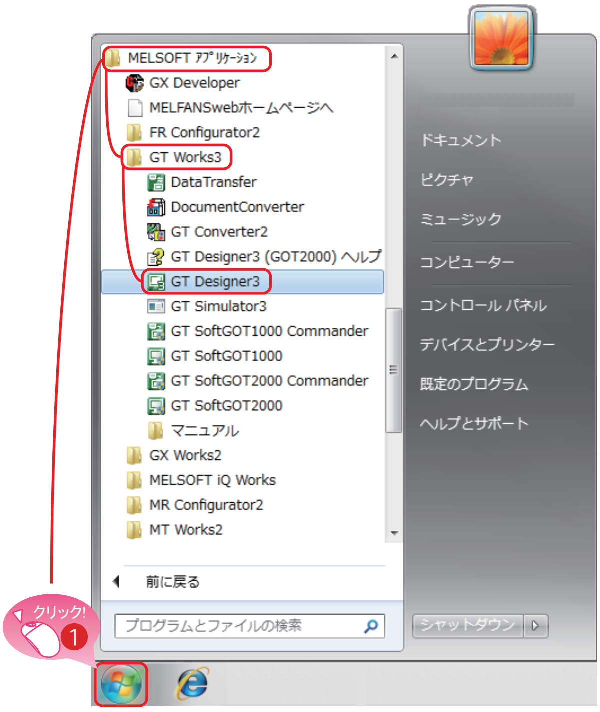
➡ 3-2　図形 (文字) ①～③の作成
3-3　図形 (文字) ④，⑤の作成

(6)　画面ジェスチャ用スイッチ
ピンチイン・ピンチアウトで画面を拡大・縮小できます。

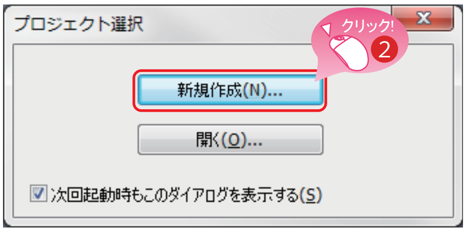
➡ 4-1　画面ジェスチャ機能を設定する

7. プロジェクトを新規に作成する

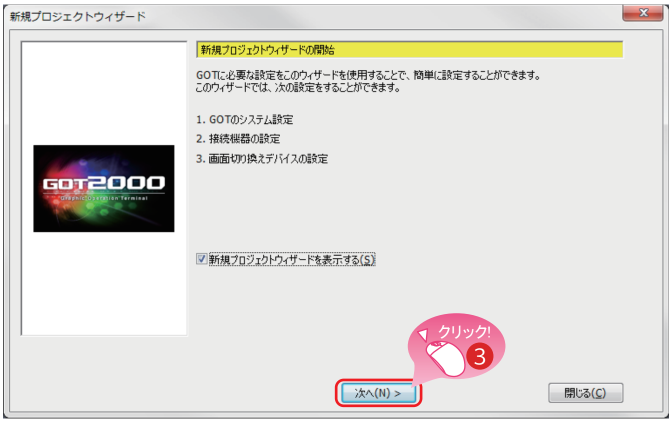
GT Designer3(GOT2000) を起動し，ウィザードにしたがって設定します。



❶ Windows のスタートメニューから，[MELSOFT アプリケーション] → [GT Works3] → [GT Designer3] を選択します。

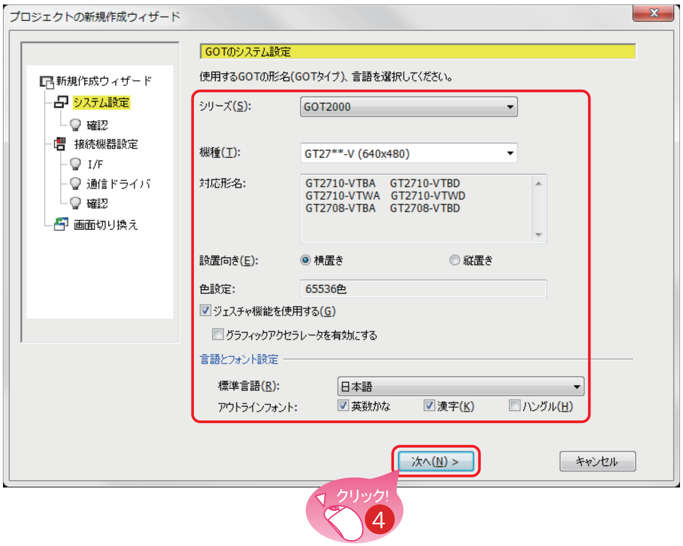


❷ プロジェクト選択ダイアログボックスで [新規作成] ボタンをクリックします。



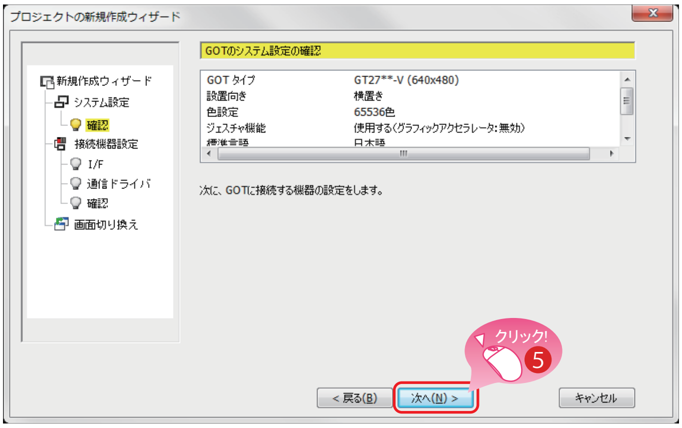
❸ 新規プロジェクトウィザードの開始画面で [次へ] ボタンをクリックします。

ヒント インストール時にショートカットアイコンを作成しておくと，デスクトップから起動できます。

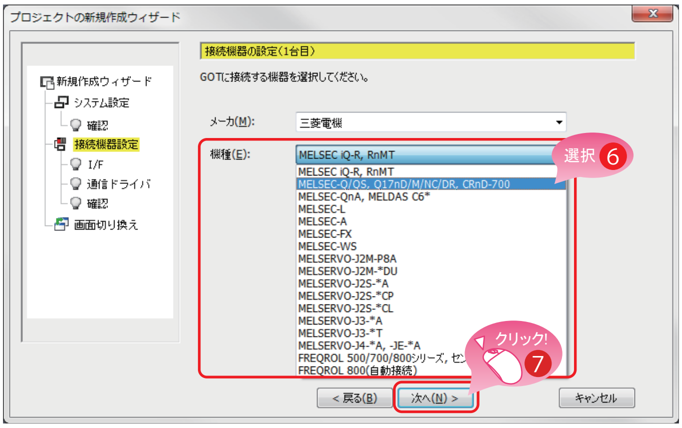


4 システム設定画面で設定を確認し，[次へ] ボタンをクリックします。

- シリーズ　：GOT2000
- 機種　　　：GT27**-V(640×480)
- ジェスチャ機能を使用する
　　　　　　：チェックあり
- 標準言語　：日本語
- アウトラインフォント
  - 英数かな：チェックあり
  - 漢字　　：チェックあり
  - ハングル：チェックなし

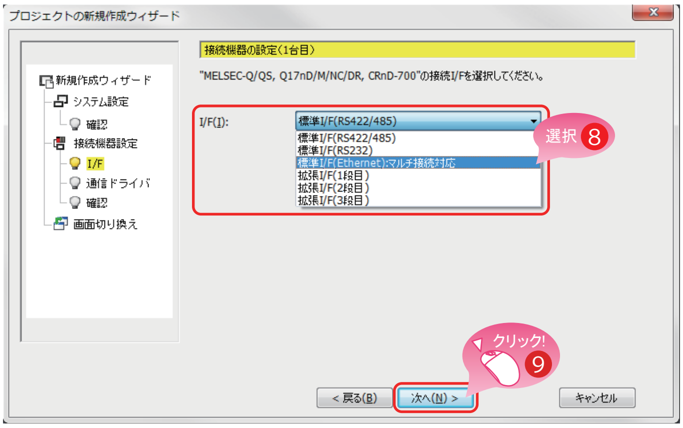


5 表示された内容を確認し，[次へ] ボタンをクリックします。



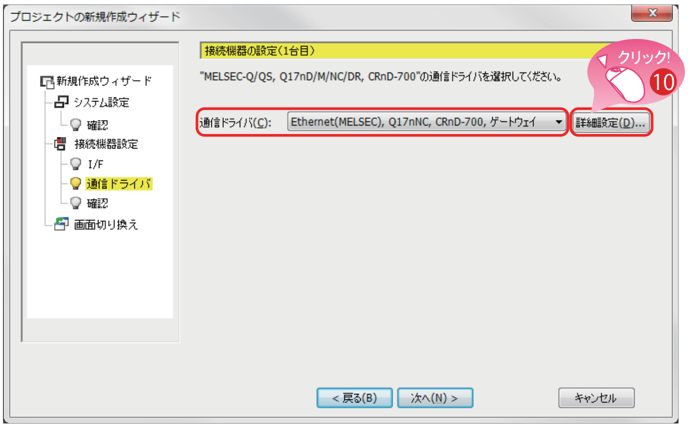
6 接続機器設定画面で，
[機種] をドロップダウンして
[MELSEC-Q/QS，Q17nD/M/DR，CRnD-700] を選択します。

7 [次へ] ボタンをクリックします。



8 [I/F] をドロップダウンして
[標準 I/F(Ethernet)：マルチ接続対応] を選択します。

9 [次へ] ボタンをクリックします。

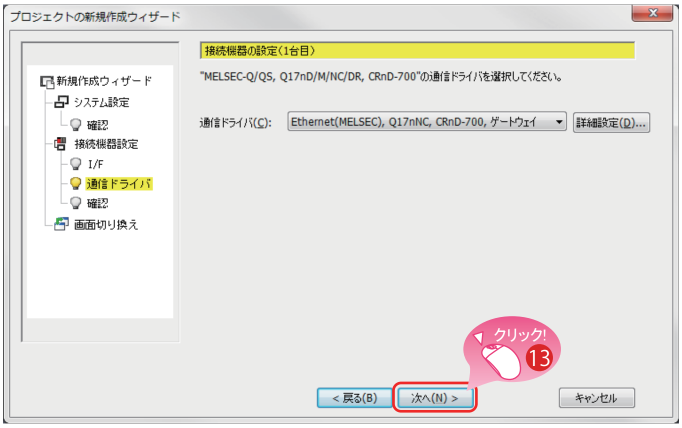


10 通信ドライバの設定を確認し，[詳細設定] ボタンをクリックします。
通信ドライバ：Ethernet(MELSEC)，Q17nNC，
CRnD-700，ゲートウェイ

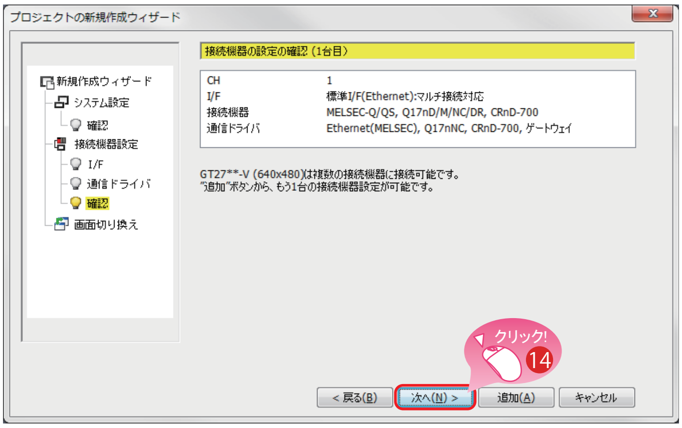
11 左記の画面が表示されるので，[GOT 局番] を変更します。
GOT 局番：2

12 [OK] ボタンをクリックします。

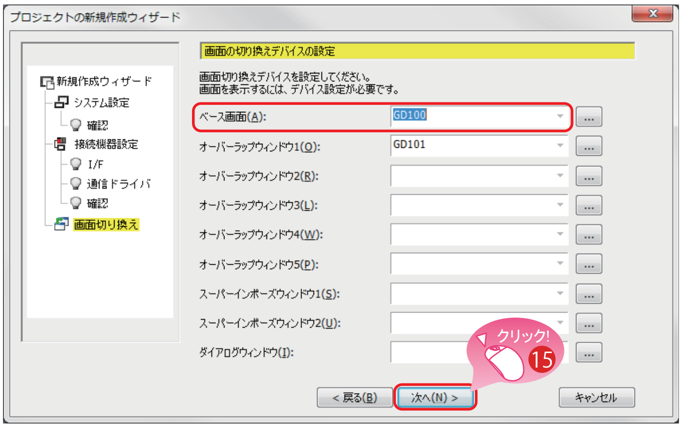
ヒント [GOT 標準 Ethernet 設定] ボタンをクリックすると，GOT の IP アドレスを変更できます。



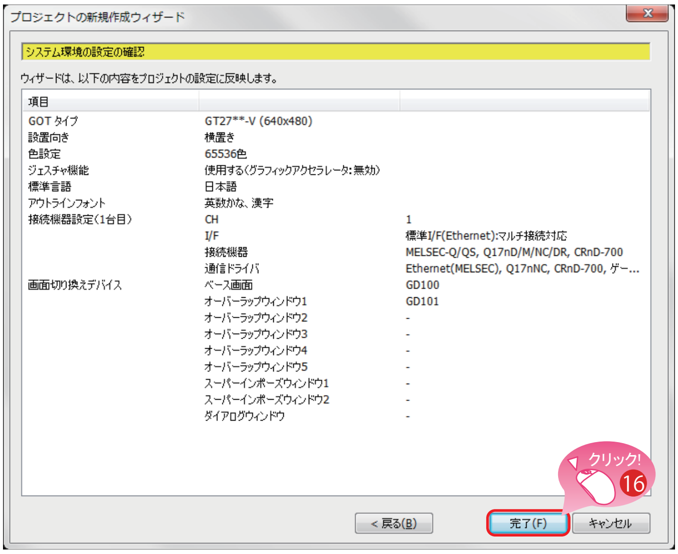
⑬ [次へ] ボタンをクリックします。



⑭ 表示された内容を確認し，[次へ] ボタンを
クリックします。

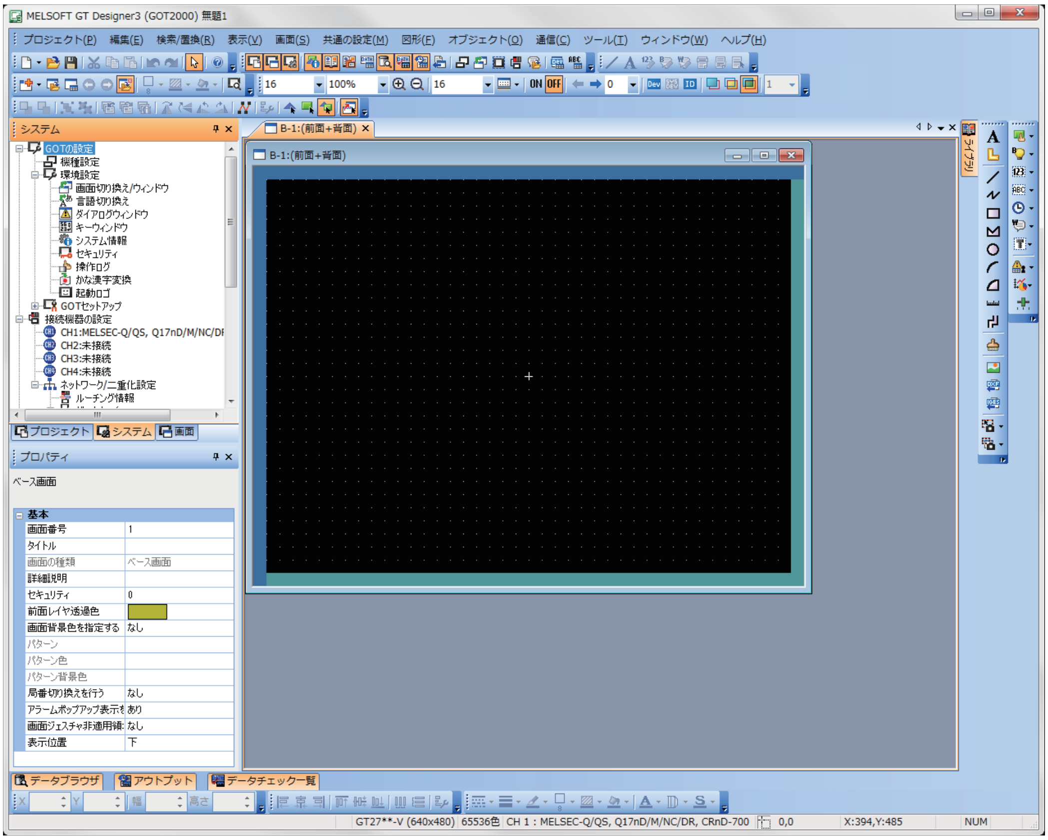


⑮ ベース画面の画面切り換えデバイスの設定を
確認し，[次へ] ボタンをクリックします。
ベース画面：GD100(デフォルト)



16 ウィザードで設定した内容を確認し，［完了］ボタンをクリックします。

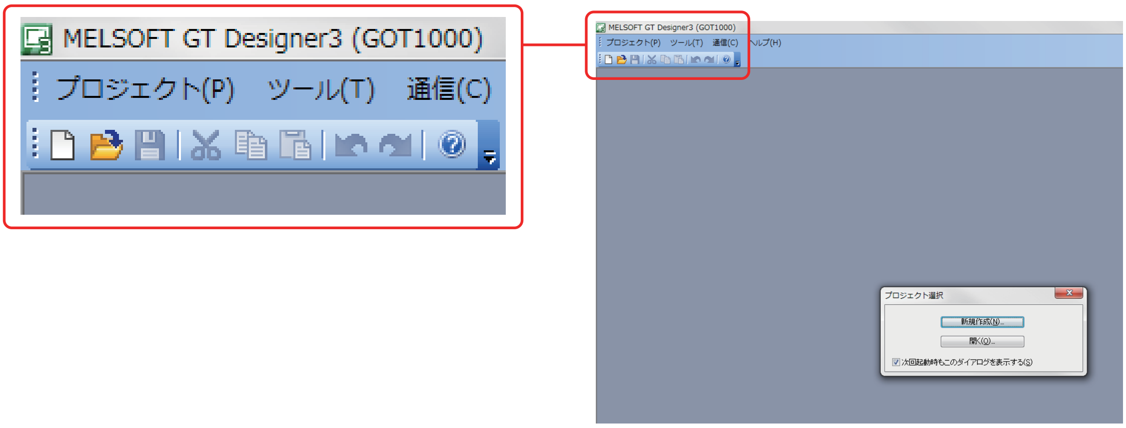
GT Designer3(GOT2000) の編集画面が現れ，ベース画面 1 が作成されます。



GT Designer3 (GOT1000) が起動した場合の対処

GT Designer3 は，前回プロジェクトを保存した作画ソフトウェアを起動します。

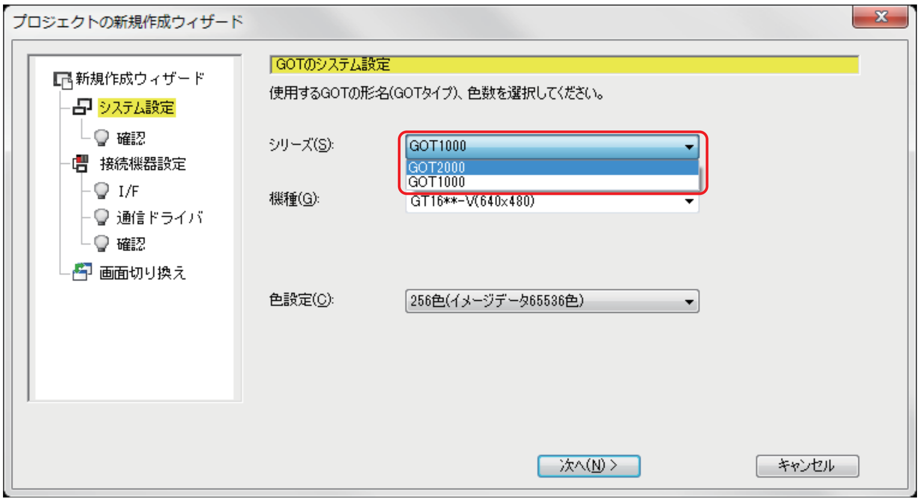
GOT1000 用の作画ソフトウェアが起動している状態



GOT1000 用の作画ソフトウェアが起動した場合，下記のいずれかの方法により GOT2000 用の作画ソフトウェアを起動してください。

(1)　メニューから GT Designer3(GOT2000) を起動する
メニューバーの [プロジェクト] → [GT Designer3(GOT2000) を起動する] を選択して，GT Designer3(GOT2000) を起動します。

(2)　ウィザードから GT Designer3(GOT2000) を起動する
[プロジェクトの新規ウィザード] の [シリーズ] で [GOT2000] を選択して，GT Designer3(GOT2000) を起動します。



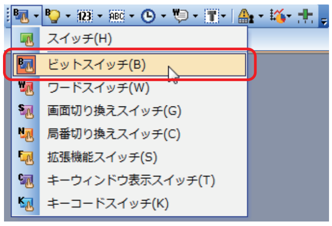
2-1 運転スイッチの作成

1. スイッチを配置する

メニューバーの [オブジェクト] → [スイッチ] → [ビットスイッチ] を選択し，スイッチを配置します。

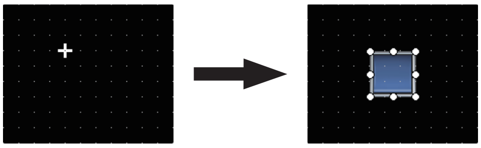
ヒント

ツールバーからも選択できます。



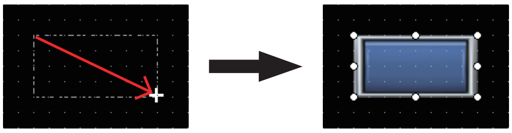
ヒント

オブジェクトの配置
メニューまたはツールバーからオブジェクトを選択すると，カーソルが＋になります。
画面エディタ上の配置したい位置でクリックします。



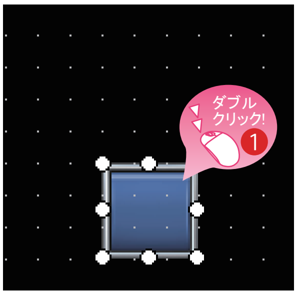
クリック　　　　配置

ドラッグしながらオブジェクトを配置すると，任意のサイズでオブジェクトを配置できます。

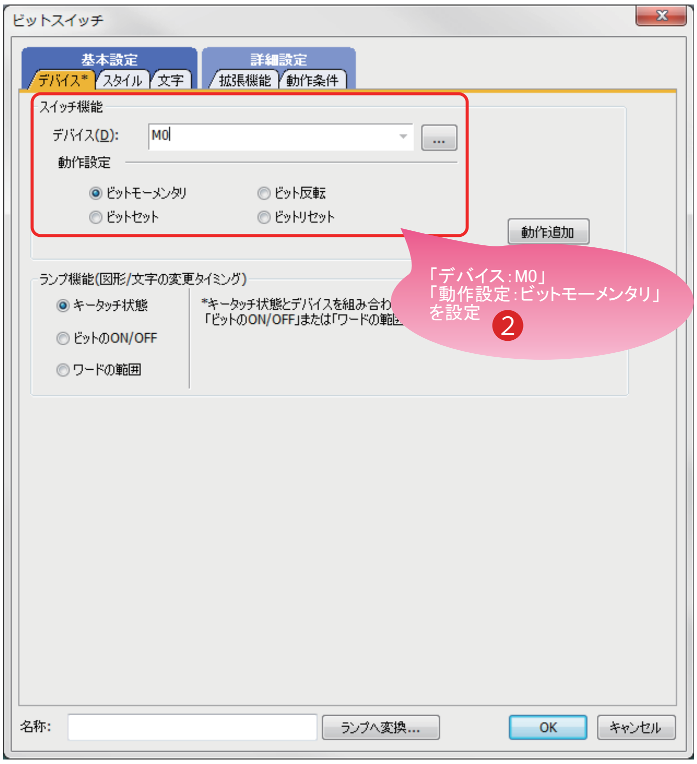


ドラッグ　　　　配置

2. デバイス・動作を設定する



1 配置したスイッチをダブルクリックします。

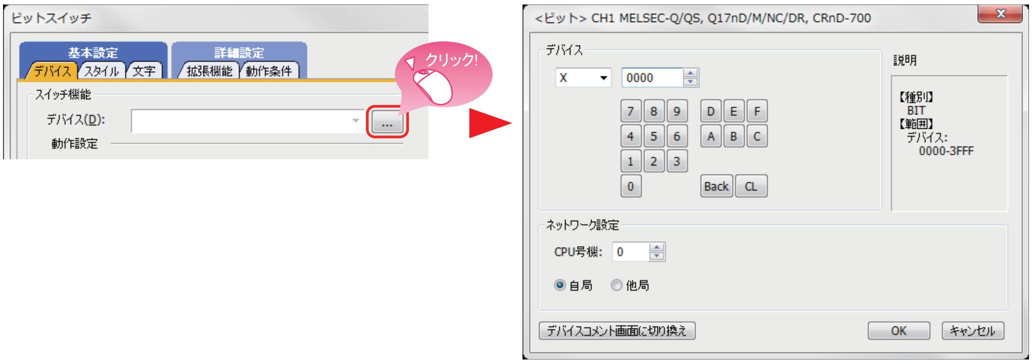


ダイアログが表示されたら，下記を設定します。

2 デバイス：M0
動作設定：ビットモーメンタリ

ポイント

デバイスの設定
デバイスは ... をクリックして設定します。



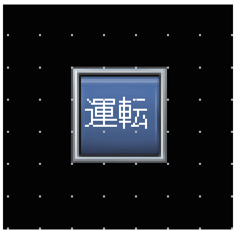
キーボードから直接入力することもできます。

3. 文字を設定する

3 文字タブを選択します。

4 文字列に「運転」を入力します。

5 [OK] ボタンをクリックします。



運転スイッチの完成です。

参照

困ったときは，F1 キーを押すと，GT Designer3(GOT2000) ヘルプが起動し，操作状態に応じたヘルプを表示します。

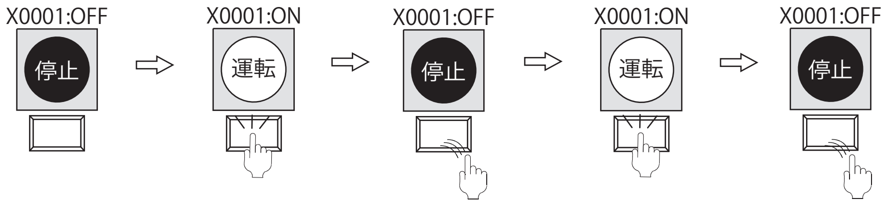
GT Designer3（GOT2000）ヘルプについては，下記を参照してください。

➠付録 3 ヘルプ

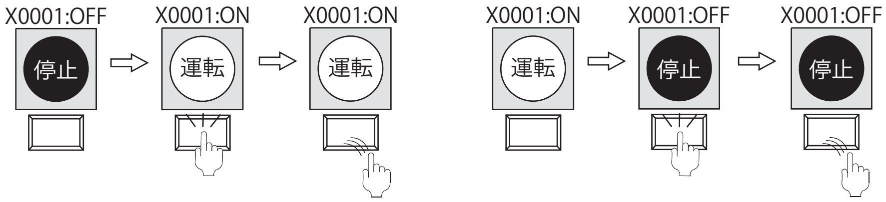
ビットスイッチの動作

ビットスイッチでは，スイッチに指定されたビットデバイスを ON，OFF します。
ビットスイッチで設定できる動作は下記のとおりです。

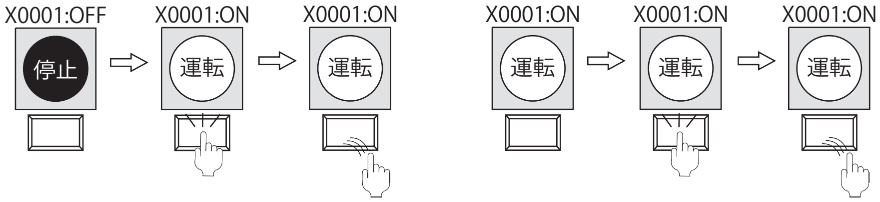
(1) ビットモーメンタリ
タッチ中のみ，指定したビットデバイスを ON にします。



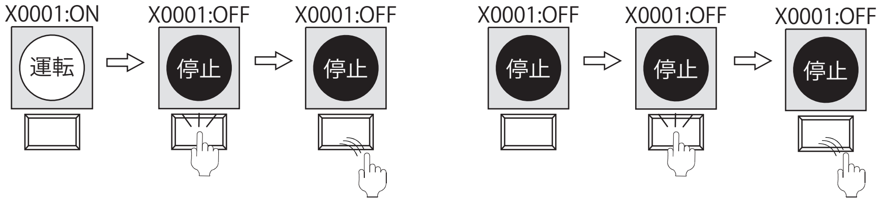
(2) ビット反転
タッチすると，指定したビットデバイスの状態を反転 (ON ⇔ OFF) します。



(3) ビットセット
タッチすると，指定したビットデバイスを ON にします。

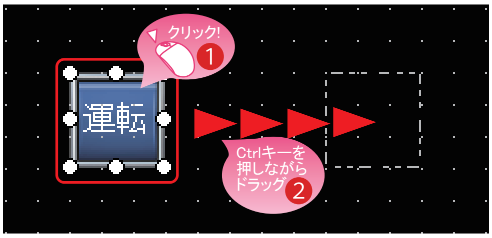


(4) ビットリセット
タッチすると，指定したビットデバイスを OFF にします。



2-2 停止スイッチの作成

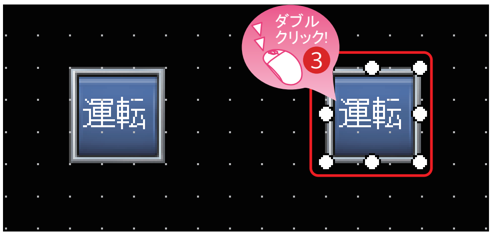
1. 運転スイッチをコピーする



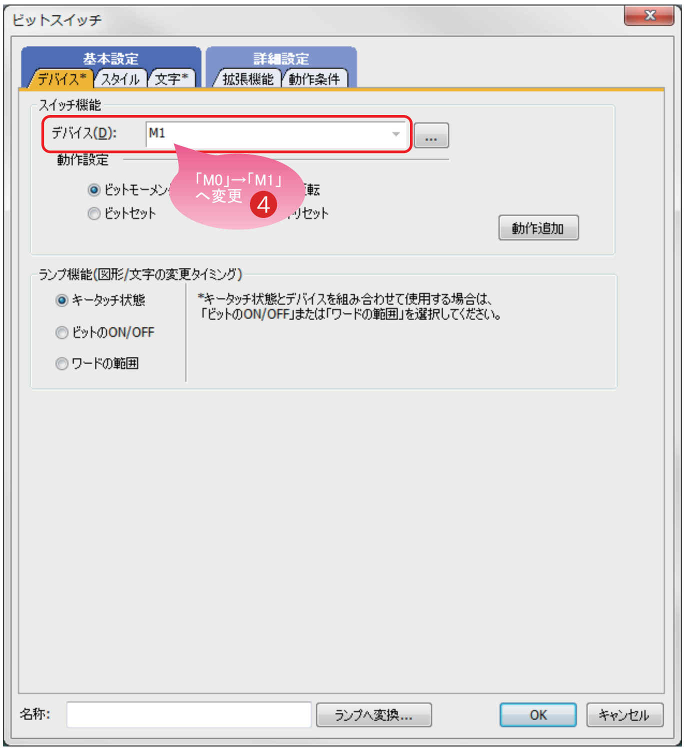
1 運転スイッチを選択します。

2 Ctrl キーを押しながら，ドラッグします。

2. コピーした運転スイッチのデバイスを変更する

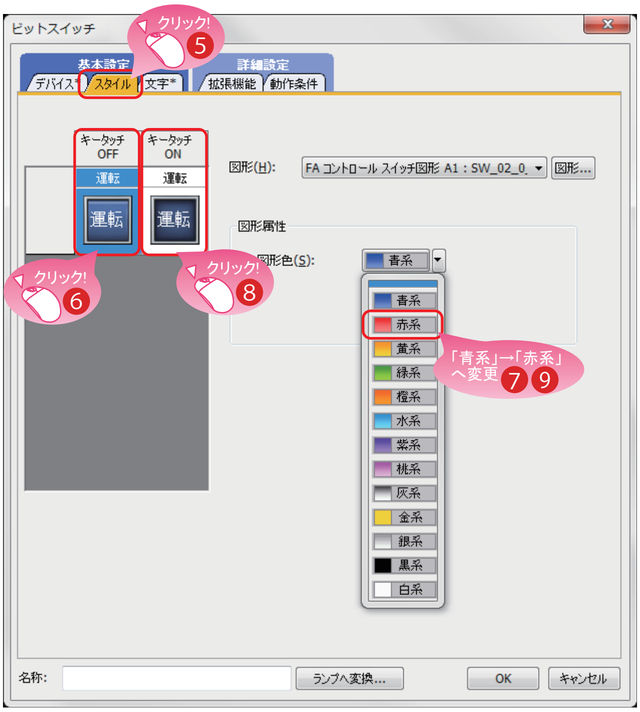


3 コピーした運転スイッチをダブルクリックします。



4 ダイアログが表示されたら，デバイスを下記へ変更します。
デバイス：M0 → M1

3. スイッチの図形色を変更する



❺ スタイルタブを選択します。

❻ OFF 時の図形を選択します。

❼ 図形色を選択します。
青系→赤系

❽ ON 時の図形を選択します。

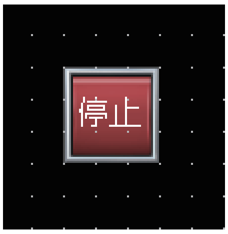
❾ 図形色を選択します。
青系→赤系

4. スイッチの文字を変更する

❿ 文字タブを選択します。

⓫ 文字列に「停止」を入力します。

⓬ [OK] ボタンをクリックします。



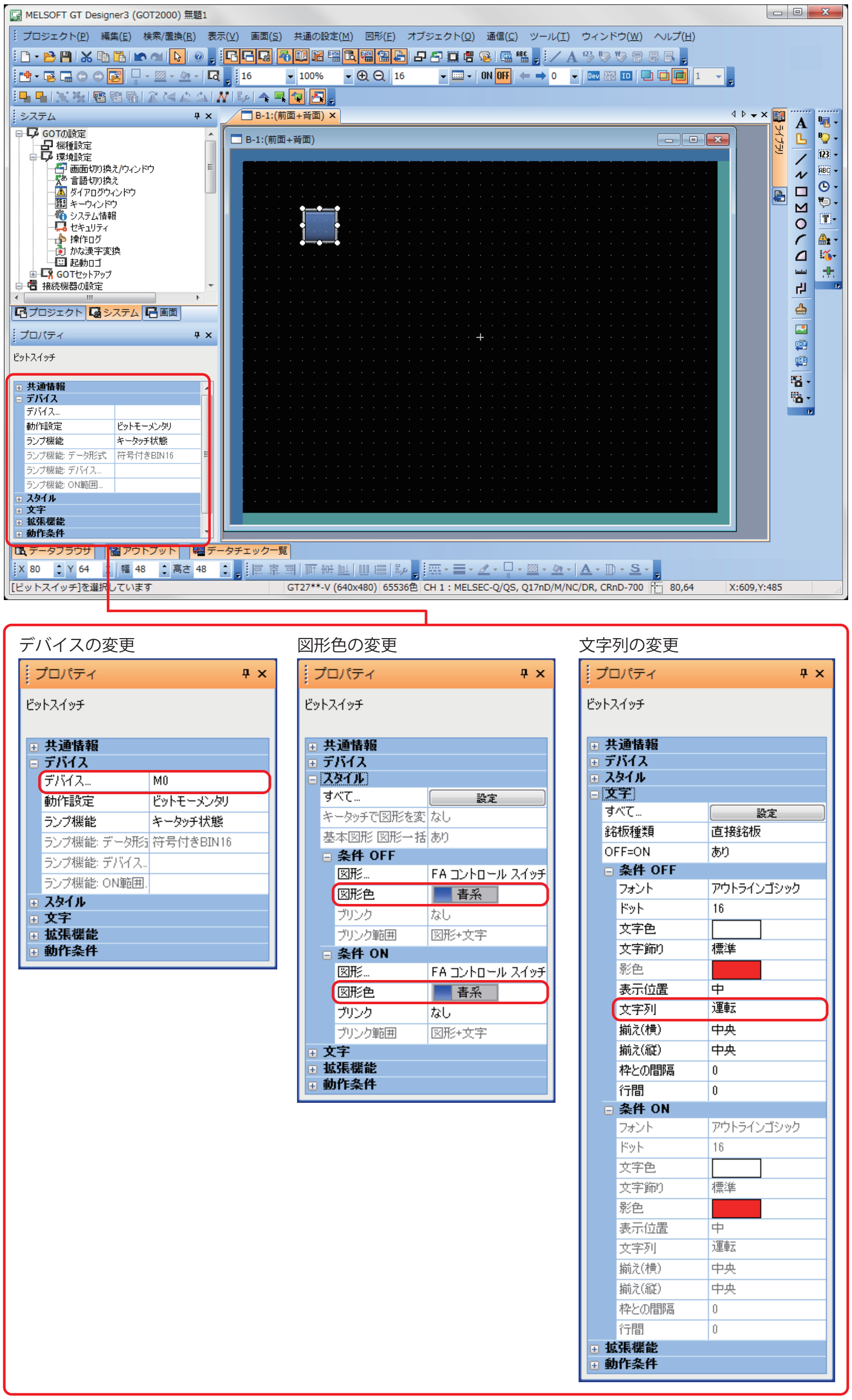
停止スイッチの完成です。

プロパティシート

プロパティシートでは，選択している画面や，図形，オブジェクトの属性と設定値を一覧表示します。

設定ダイアログを開かずに，設定内容の確認，変更ができます。

また，同一画面上に配置している図形，オブジェクトを複数選択して，設定値を一括変更することもできます。



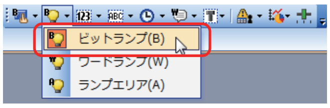
表示方法，設定方法は，ヘルプまたは，GT Designer3 (GOT2000) 画面設計マニュアルを参照してください。

2-3 運転中ランプの作成

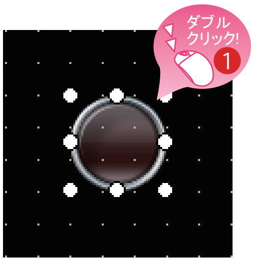
1. ランプを配置する

メニューバーの [オブジェクト] → [ランプ] → [ビットランプ] を選択し，ランプを配置します。

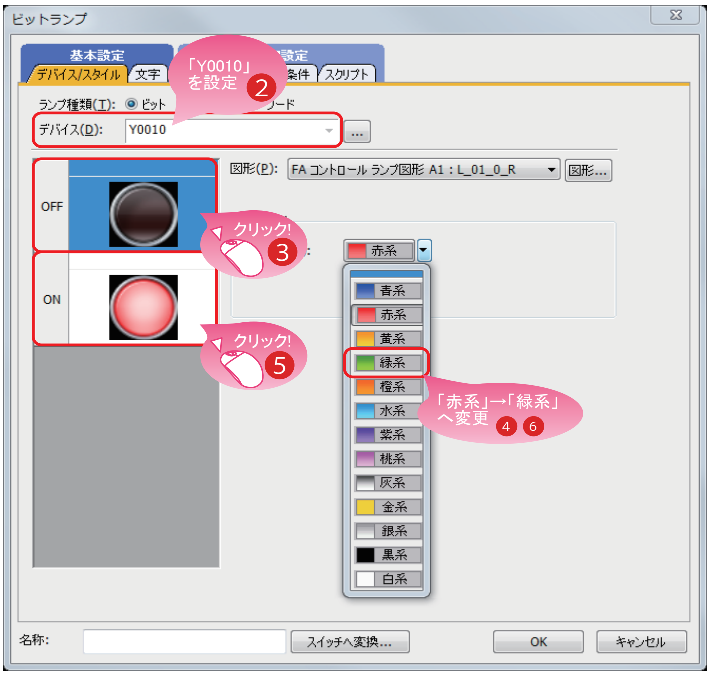
ヒント　ツールバーからも選択できます。



2. ランプのデバイス・図形・色を設定する



1 配置したランプをダブルクリックします。



ダイアログが表示されたら，下記を設定します。

2 デバイス：Y0010

3 OFF 時図形を選択

4 図形色を選択
赤系→緑系

5 ON 時図形を選択

6 図形色を選択
赤系→緑系

3. ランプの文字を設定する

❼ 文字タブを選択します。

❽ OFF 図形を選択します。

❾ 文字サイズ：12 ドットを選択します。

❿ 文字列に「停止中」を入力します。

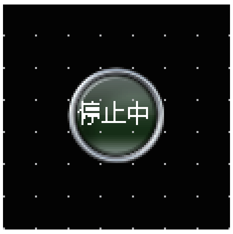
⓫ OFF=ON のチェックを外します。

⓬ ON 図形を選択します。

⓭ 文字色を黒にします。

⓮ 文字列に「運転中」を入力します。

⓯ [OK] ボタンをクリックします。



運転中ランプの完成です。

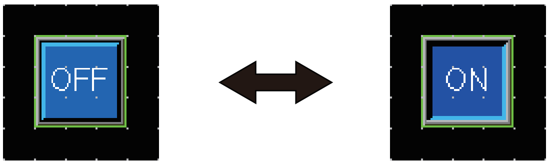
画面エディタ上でのオブジェクトの表示

画面エディタ上に表示するオブジェクトの条件を切り換えたり，設定された情報の表示，非表示を切り換えできます。

(1) 画面エディタ上に表示するオブジェクトの条件を切り換える

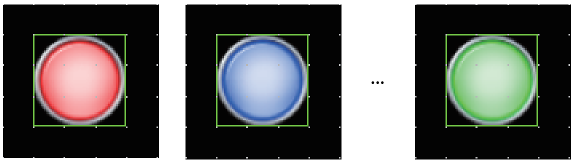
(a) ON，OFF を切り換える

[表示] → [ON/OFF 表示切り換え] メニューを選択すると，画面エディタ上のオブジェクトの ON，OFF が切り換わります。
条件を設定しているオブジェクトは，OFF を条件 0，ON を条件 1 として表示が切り換わります。



(b) 条件 No. を指定して切り換える

[表示] → [条件 No.] → [前の条件]，[次の条件] メニューを選択すると，条件 No. に合わせて画面エディタ上のオブジェクトの表示が切り換わります。
ON，OFF で切り換わるオブジェクトは，条件 0 のときは OFF，条件 1 以上のときは ON として表示が切り換わります。

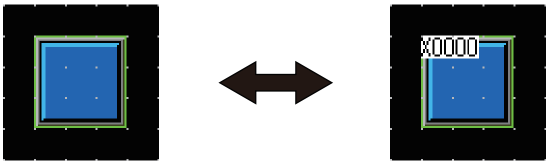


条件 0　　条件 1　　…　　条件 63

(2) 画面エディタに表示する情報を設定する

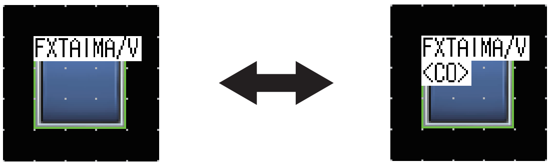
(a) デバイス

[表示] → [表示項目] → [デバイス] メニューを選択すると，画面エディタ上にデバイスを表示する，しないが切り換わります。



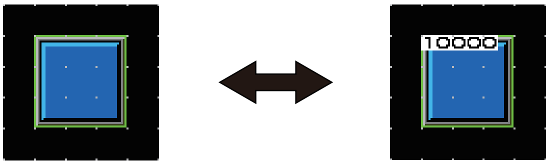
(b) システムラベルのデバイス

[表示] → [表示項目] → [システムラベルのデバイス] メニューを選択すると，画面エディタ上にシステムラベルに割り付けられたデバイスを表示する，しないが切り換わります。



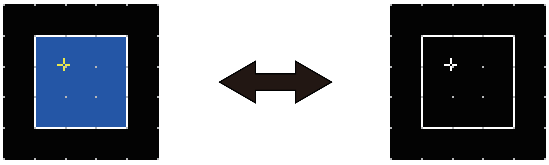
(c)　オブジェクト ID

[表示] → [表示項目] → [オブジェクト ID] メニューを選択すると，画面エディタ上にオブジェクト ID を表示する，しないが切り換わります。



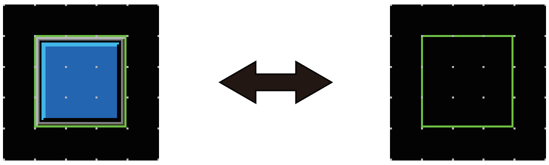
(d)　ペイント

[表示] → [表示項目] → [ペイント] メニューを選択すると，画面エディタ上にペイントを表示する，しないが切り換わります。



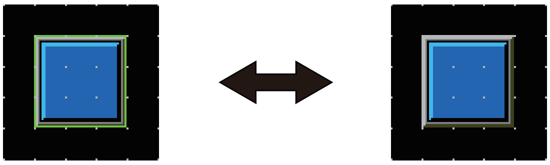
(e)　オブジェクト

[表示] → [表示項目] → [オブジェクト] メニューを選択すると，画面エディタ上にオブジェクトを表示する，しないが切り換わります。



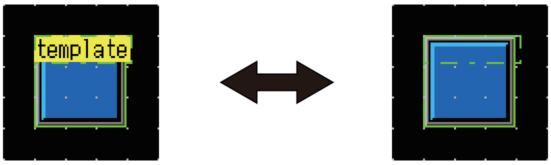
(f)　オブジェクト枠

[表示] → [表示項目] → [オブジェクト枠] メニューを選択すると，画面エディタ上にオブジェクト枠を表示する，しないが切り換わります。



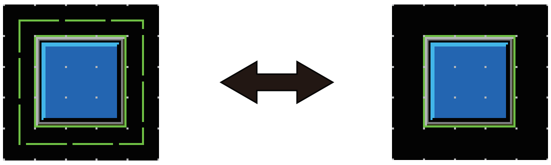
(g)　テンプレート情報

[表示] → [表示項目] → [テンプレート情報] メニューを選択すると，画面エディタ上にテンプレート情報を表示する，しないが切り換わります。



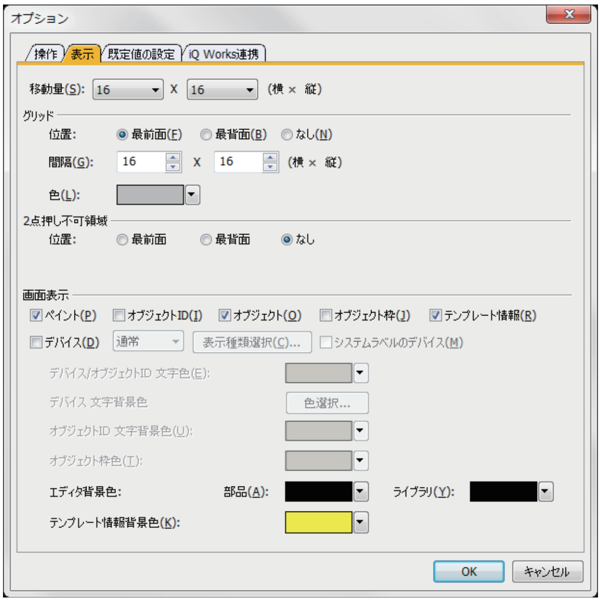
(h) タッチエリア

[表示] → [表示項目] → [タッチエリア] メニューを選択すると，画面エディタ上にタッチエリアを表示する，しないが切り換わります。



(i) オプション

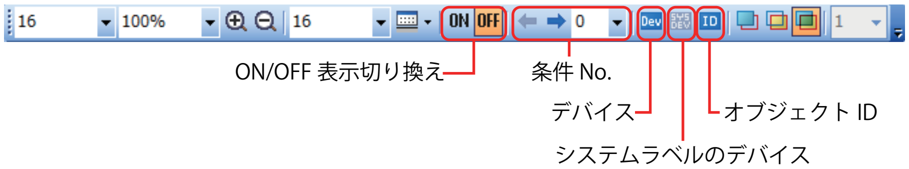
[表示] → [表示項目] → [オプション] メニューを選択すると，[オプション] ダイアログが表示されます。
画面エディタ上に表示する内容を設定できます。



参照 オプションの詳細については，ヘルプまたは，GT Designer3 (GOT2000) 画面設計マニュアルを参照してください。

ツールバーからの操作

表示の切り換えは [表示] ツールバーからも操作できます。

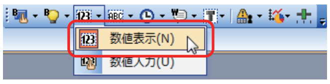


2-4 数値表示の作成

1. 数値表示を配置する

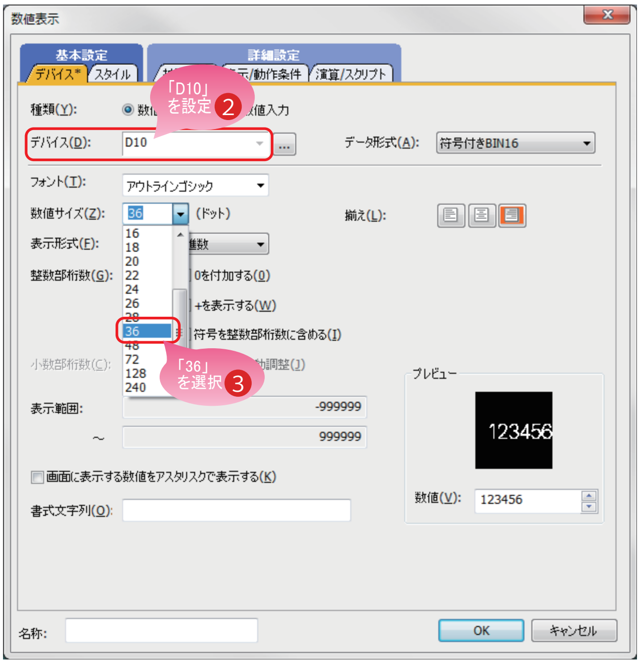
メニューバーの [オブジェクト] → [数値表示 / 入力] → [数値表示] を選択し，数値表示を配置します。

ヒント　ツールバーからも選択できます。



2. 数値表示のデバイス・数値サイズを設定する

❶ 配置した数値表示をダブルクリックします。

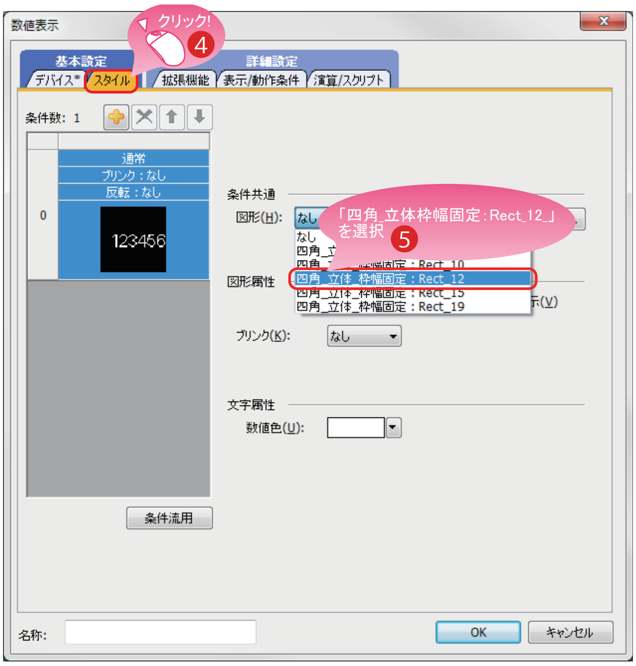


ダイアログが表示されたら，下記を設定します。

❷ デバイス　：D10

❸ 数値サイズ：36 ドットを選択

3. 数値表示の図形・枠色を設定する



❹ スタイルタブを選択します。

❺ 図形で四角 _ 立体 _ 枠幅固定：Rect_12 を選択します。

❻ 枠色で，グレーを選択します。

❼ [OK] ボタンをクリックします。

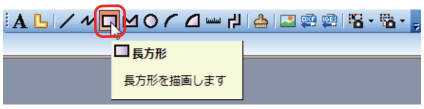
数値表示の完成です。

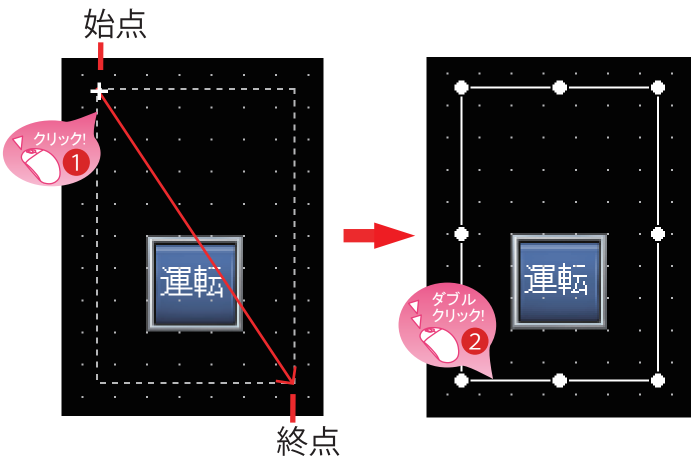
3-1 図形 (長方形) の作成

1. 長方形を配置する

メニューバーの [図形] → [長方形] を選択し，長方形を配置します。

ヒント　ツールバーからも選択できます。

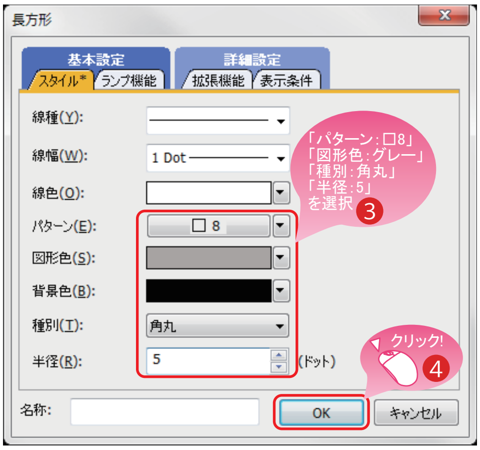




1 マウスで始点をクリックしたまま，終点までドラッグします。

2 長方形をダブルクリックします。

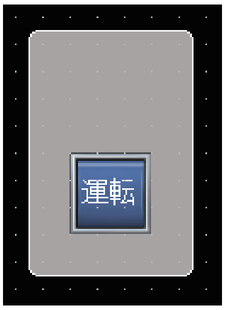
2. 長方形の設定を変更する



ダイアログが表示されたら，下記を設定します。

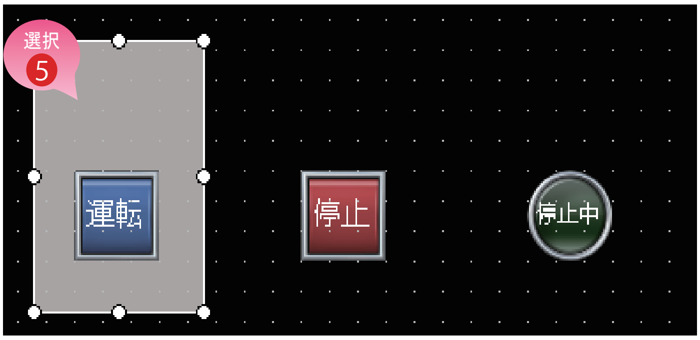
3 パターン：□ 8
図形色　：グレー
種別　　：角丸
半径　　：5 ドット

4 [OK] ボタンをクリックします。



長方形の完成です。

3. 長方形を連続コピーする



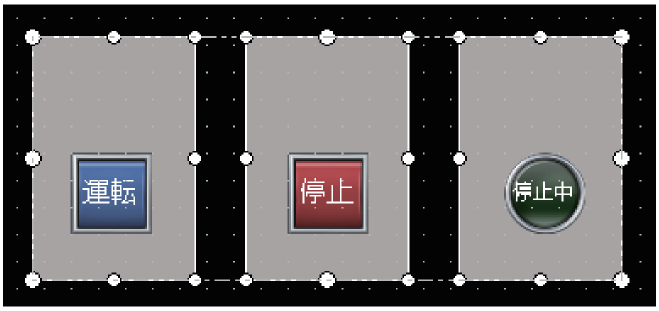
5 長方形を選択し，メニューバーの [編集] →
[連続コピー] を選択します。

ダイアログが表示されたら，下記を設定します。

6 コピー後の全体数：X 方向 3

7 間隔：X 方向 30

8 [OK] ボタンをクリックすると長方形が
連続コピーされます。



ポイント

図形はオブジェクトの背面レイヤに配置されます。

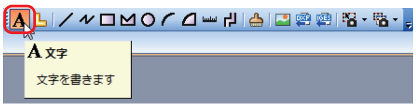
GOT の特長
GT Designer3 の特長
機器を揃えよう
STEP1 プロジェクトを作成しよう
STEP2 プロジェクトを転送しよう
STEP3 GOT を使ってみよう
付録

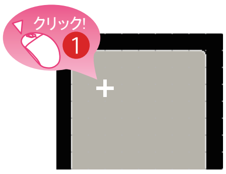
3-2 図形 (文字) ①～③の作成

1. 図形 (文字) ①を配置する

メニューバーの [図形] → [文字] を選択し，図形 (文字) を配置します。

ヒント　ツールバーからも選択できます。





❶ 文字を入力する位置でマウスをクリックします。

2. 図形 (文字) ①を設定する

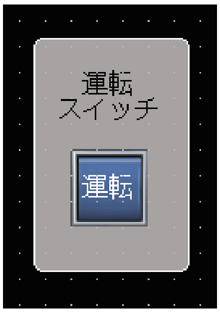
ダイアログが表示されたら，下記を設定します。

❷ 文字列：運転スイッチ
（「運転」の後に Enter を入力すると改行できます。）

❸ 文字色：黒

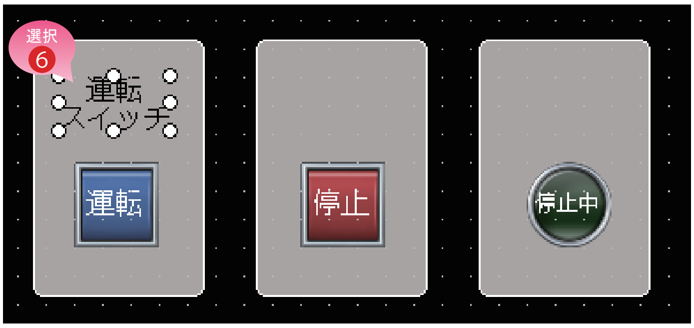
❹ 揃え　：中央揃え

❺ [OK] ボタンをクリックします。



図形 (文字) ①の完成です。

3. 図形 (文字) ①を連続コピーして，図形 (文字) ②，③を作成する



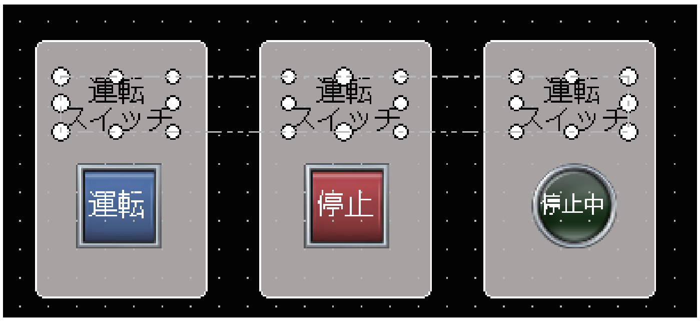
❻ 図形 (文字) ①を選択し，メニューバーの [編集] → [連続コピー] を選択します。

ダイアログが表示されたら，下記を設定します。

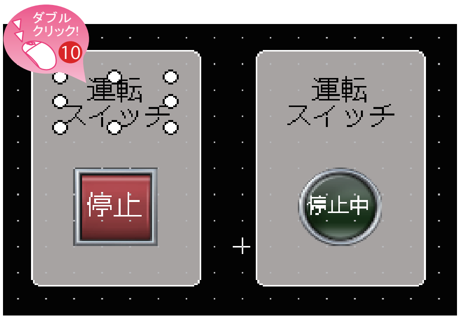
❼ コピー後の全体数：X 方向 3

❽ 間隔　　　　　　：X 方向 95

❾ [OK] ボタンをクリックすると図形 (文字) が連続コピーされます。



4. コピーした図形 (文字) の文字を修正する



⑩ コピーした図形 (文字) ②をダブルクリックします。

ダイアログが表示されたら，下記を設定します。

⑪ 文字列：停止スイッチ
(「停止」の後に Enter を入力すると改行できます。)

⑫ [OK] ボタンをクリックします。

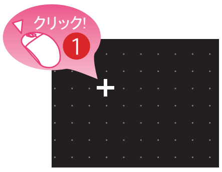
同様に図形 (文字) ③も修正します。
文字列：運転中ランプ
(「運転中」の後に Enter を入力すると改行できます。)

図形 (文字) ②，③の完成です。

3-3 図形 (文字) ④，⑤の作成

1. 図形 (文字) ④を配置する

メニューバーの [図形] → [文字] を選択し，図形 (文字) を配置します。
図形 (文字) は，ツールバーから選択することもできます



① 文字を入力する位置でマウスをクリックします。

2. 図形 (文字) ④を設定する

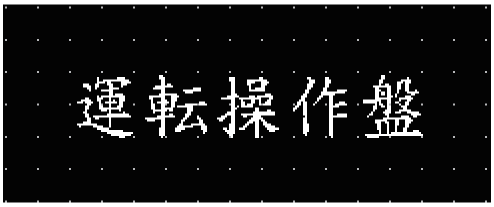
ダイアログが表示されたら，下記を設定します。

② 文字列　　：運転操作盤

③ フォント　：アウトライン楷書

④ 文字サイズ：36 ドット

⑤ [OK] ボタンをクリックします。



図形 (文字) ④の完成です。

3. 同様に，図形 (文字) ⑤を配置・設定する

下記を設定します。
文字列　　：データ 1
フォント　：アウトラインゴシック
文字サイズ：16 ドット

図形 (文字) ⑤の完成です。

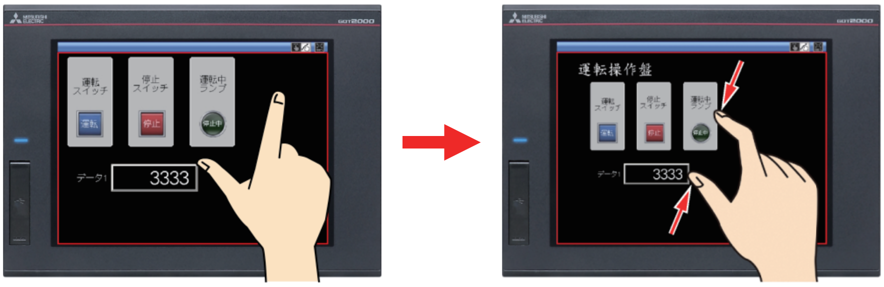
4-1 画面ジェスチャ機能を設定する

1. 画面ジェスチャ機能とは

画面ジェスチャ機能とは，GOT のモニタ画面のズーム，スクロールを行える機能です。
ピンチアウト・ピンチインなどのジェスチャで，GOT のモニタに直接触れながらオブジェクトの表示内容のスクロールや，拡大，縮小ができます。

(例) ピンチアウトによる画面の拡大

(例) ピンチインによる画面の縮小



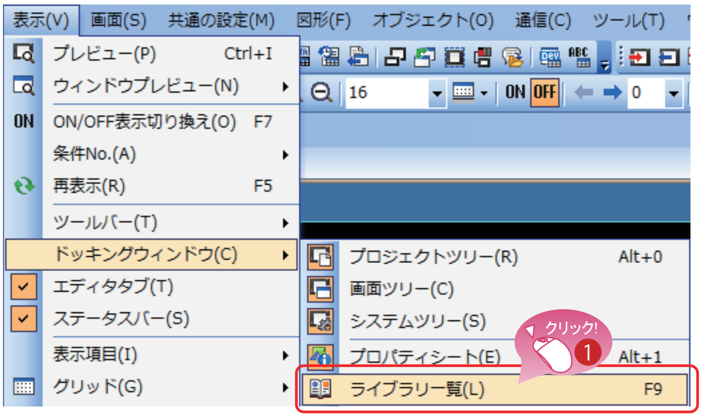
ポイント

画面ジェスチャ機能は，デフォルトで有効になっています。
無効になっている場合は，下記の手順で設定してください。

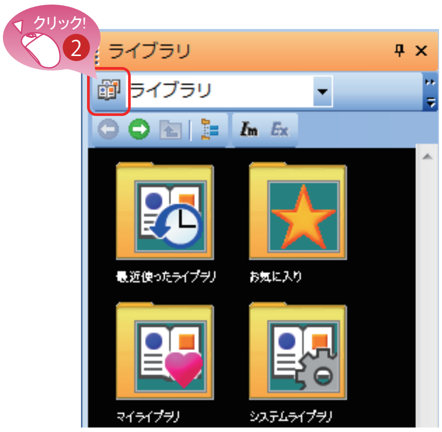
メニューバーの [共通の設定] → [GOT 機種設定] を選択すると，機種設定ダイアログが表示されます。
[ジェスチャ機能を使用する] にチェックを入れて，[OK] をクリックしてください。
画面ジェスチャ機能が有効になります。

2. 画面ジェスチャ用オブジェクトを作成する

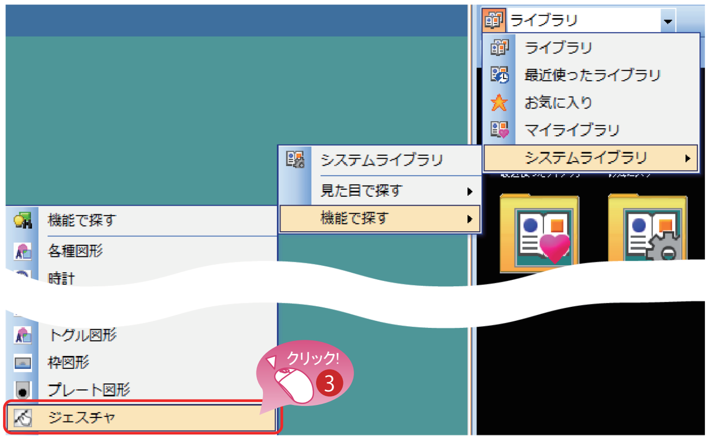
画面ジェスチャモードの切り換えスイッチを配置します。



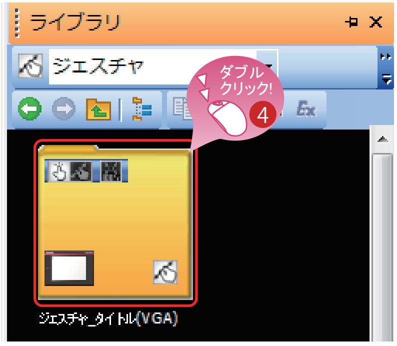
1 メニューバーの [表示] →
[ドッキングウィンドウ] → [ライブラリ一覧]
を選択します。



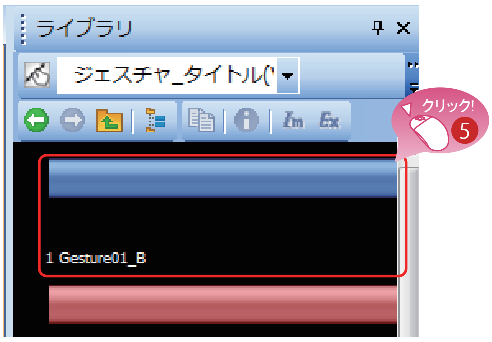
2 [ライブラリ一覧] ウィンドウの アイコン
をクリックします。



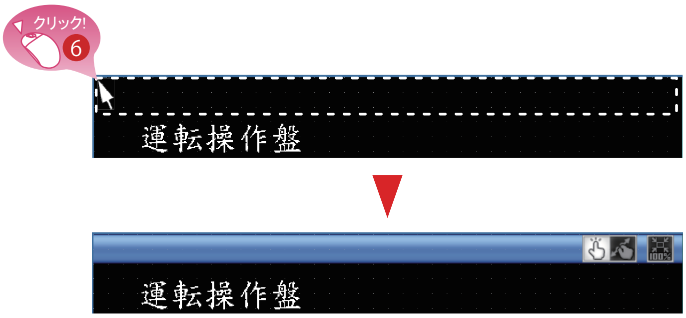
3 表示されるプルダウンメニューの
[システムライブラリ] → [機能で探す] →
[ジェスチャ] を選択します。



4 [ジェスチャ _ タイトル (VGA)] を
ダブルクリックします。



5 登録されているスタイルが一覧で表示
されます。
[1 Gesture01_B] をクリックします。



6 カーソルをそのまま画面エディタに移動し,
画面の左上でクリックします。
(オブジェクトの大きさを表す破線が表示
されます。)

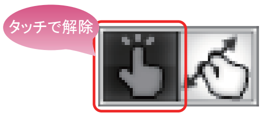
画面ジェスチャ用オブジェクトが配置されます。

ポイント

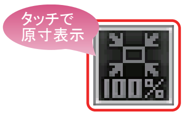
画面ジェスチャ用オブジェクトの機能

- 画面ジェスチャモード切換
  タッチすると画面ジェスチャモードに切り換わります。

- 画面ジェスチャモード解除
  画面ジェスチャモード中にタッチすると画面ジェスチャモードを解除します。

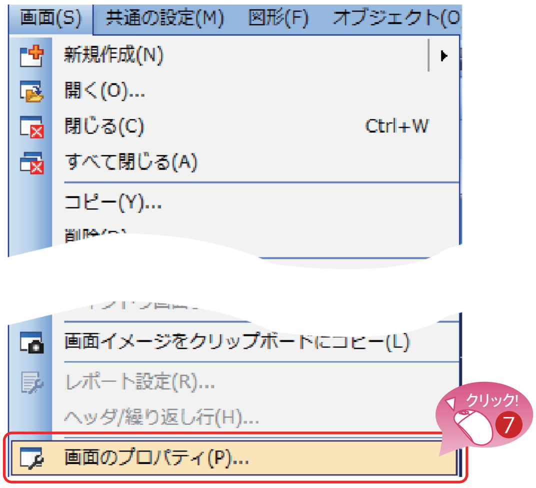


- 原寸表示 (100% 表示)
  タッチするとジェスチャ機能を使って拡大した画面を 100% 表示に戻します。

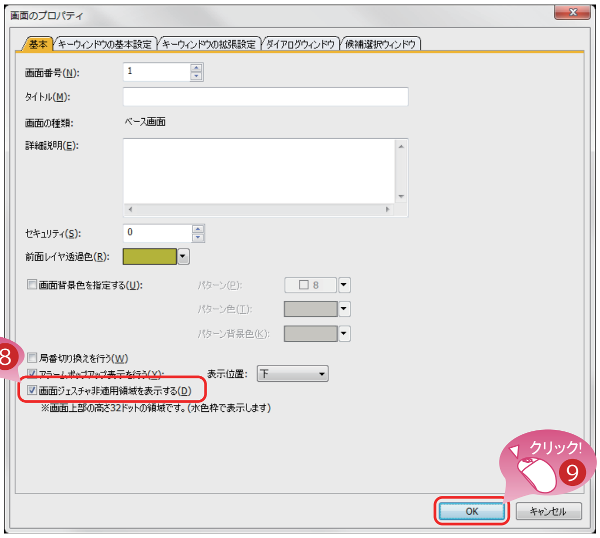


3. 画面ジェスチャ非表示領域を表示する

[画面ジェスチャ非表示領域] とは，ジェスチャ機能使用中もズーム，スクロールの対象外となる，画面の上端から 32 ドット分の領域です。



7 メニューバーの [画面] → [画面のプロパティ] を選択します。



8 [画面ジェスチャ非適用領域を表示する] にチェックを入れます。

9 [OK] ボタンをクリックします。

画面ジェスチャ機能の設定が完了です。

GOT の特長
GT Designer3 の特長
機器を揃えよう
STEP1 プロジェクトを作成しよう
STEP2 プロジェクトを転送しよう
STEP3 GOT を使ってみよう
付録

5-1 表示を確認する (画面プレビュー)

1. 作成した画面やオブジェクトの ON/OFF の表示状態を確認する

メニューバーの [表示] → [プレビュー] を選択します。

❶ 画面プレビューウィンドウが表示されるので，[ON] ボタンをクリックします。

❷ オブジェクトの図形が ON 図形に変わります。

❸ [OFF] ボタンをクリックすると，OFF 図形を表示します。

ランプやスイッチの表示をオブジェクトごとに確認

画面プレビューでは，ランプやスイッチなどオブジェクトごとに表示を切り換えて確認することもできます。

(1)　ON/OFF の切り換え

❶ 任意のオブジェクトを右クリックします。

❷ [ON] または [OFF] を選択します。

ON図形

OFF図形

ON 図形または OFF 図形が表示されます。

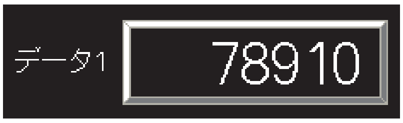
(2)　数値表示 / 入力のプレビュー値変更

❶ 数値表示を右クリックします。

❷ [プレビュー値を変更する] を選択します。

❸ 任意の値を入力します。

❹ [OK] ボタンクリックします。

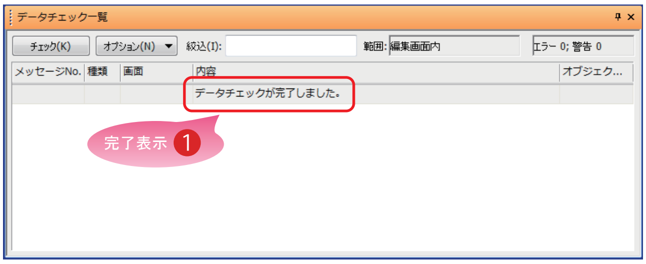


プレビュー値が変更します。

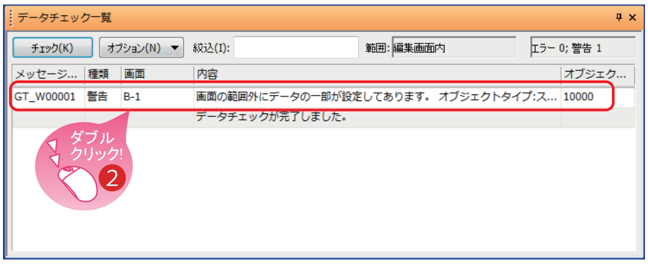
5-2 データエラーを確認する (データチェック)

1. プロジェクトにエラーがないかチェックする

メニューバーの [ツール] → [データチェック] → [チェック] を選択します。



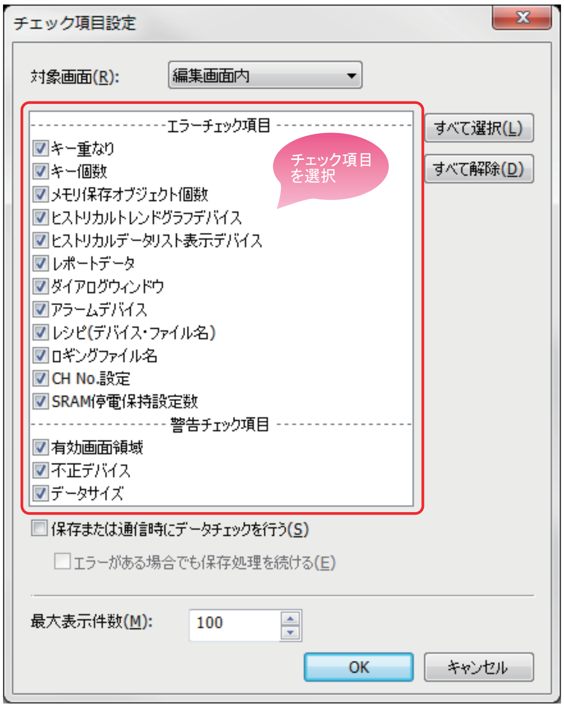
❶ データチェック一覧ウィンドウに「データチェックが完了しました」と表示され，エラーがなければ問題ありません。



❷ エラーがある場合は結果をダブルクリックすると，エラーまたは警告の原因となっている箇所へジャンプします。
エラー内容を確認し，設定を変更してください。

ヒント

データチェックでチェックする項目を設定できます。
メニューバーの [ツール] → [データチェック] → [項目設定] を選択します。

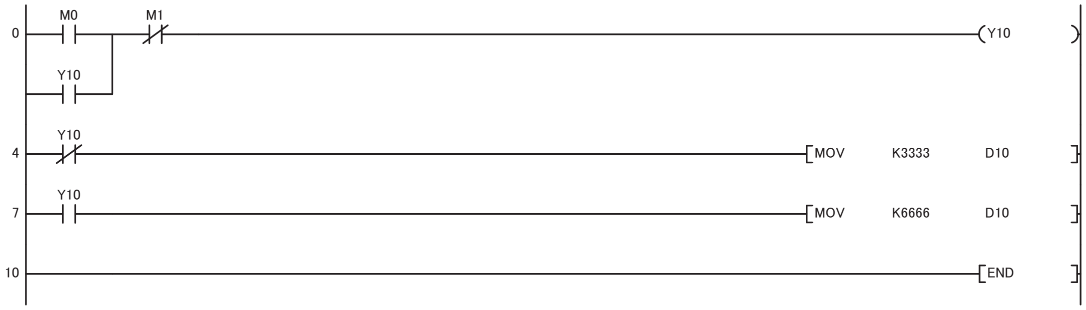


5-3 動作を確認する (シミュレータ)

1. シーケンスプログラムを用意する

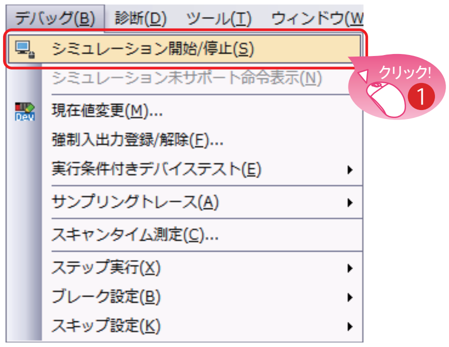
シミュレータでシミュレーションするためのシーケンスプログラムを準備します。
次のステップへ進む前に，GX Works2 でシーケンスプログラムを作成してください。

<プログラム例>



2. シーケンサのシミュレータを起動する

GX Works2 から GX Simulator2 を起動します。

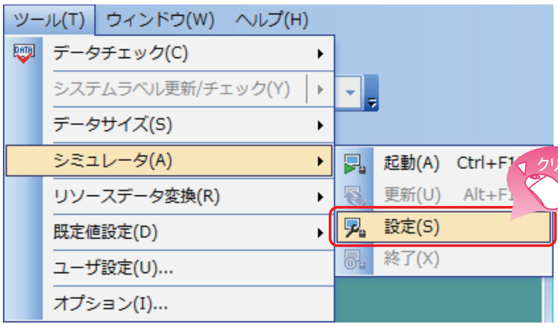


1 GX Works2 のメニューバーの [デバッグ] → [シミュレーション開始 / 停止] を選択します。

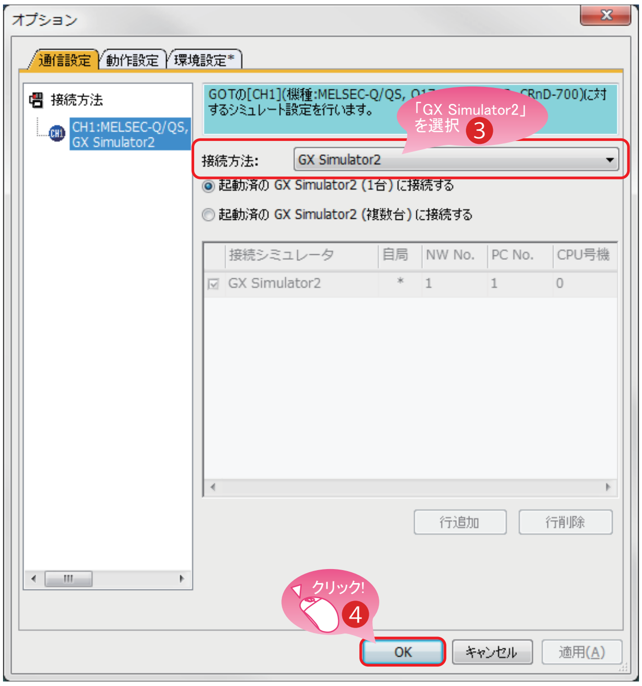
GX Simulator2 が起動します。

3. GOT のシミュレータを起動して確認する

GT Designer3(GOT2000) から GT Simulator3 を起動，確認します。



❷ GT Designer3(GOT2000) のメニューバーの [ツール] → [シミュレータ] → [設定] を選択します。



❸ ダイアログが表示されたら，接続方法で GX Simulator2 を選択します。

❹ [OK] ボタンをクリックして，設定を完了します。

❺ GT Designer3(GOT2000) のメニューバーの [ツール] → [シミュレータ] → [起動] を選択します。

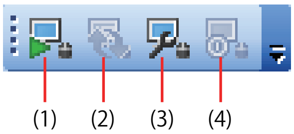
シミュレータが起動して，作画した画面をシミュレートできます。

6 運転ボタンをクリックします。

7 運転中ランプが点灯し，データ 1 の数値が 6666 に変わります。

ヒント

GT Designer3 のツールバーからシミュレータを起動，更新，終了することもできます。



(1) ［シミュレータ：起動］
GT Simulator3 を起動して，シミュレートを開始します。

(2) ［シミュレータ：更新］
シミュレート中のプロジェクトを，編集中のプロジェクトで更新します。
GT Designer3 での変更内容を即座に反映できます。

(3) ［シミュレータ：設定］
シミュレータの設定画面を開きます。

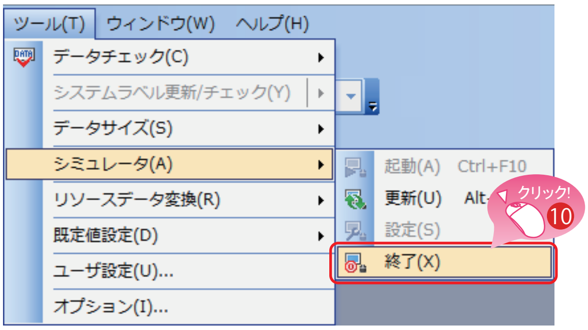
(4) ［シミュレータ：終了］
GT Simulator3 を終了します。

❽ 停止ボタンをクリックします。

❾ 運転中ランプが消灯し，データ 1 の数値が 3333 に変わります。

4. GOT のシミュレータを終了する

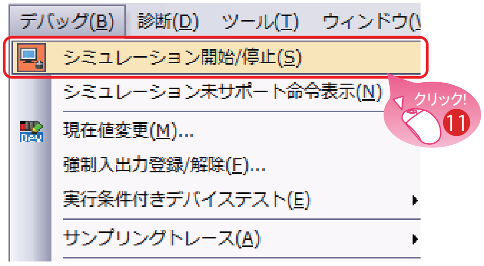
シミュレートが終わったら GT Simulator3 を終了します。



❿ GT Designer3(GOT2000) のメニューバーの [ツール] → [シミュレータ] → [終了] を選択します。

5. シーケンサのシミュレータを終了する

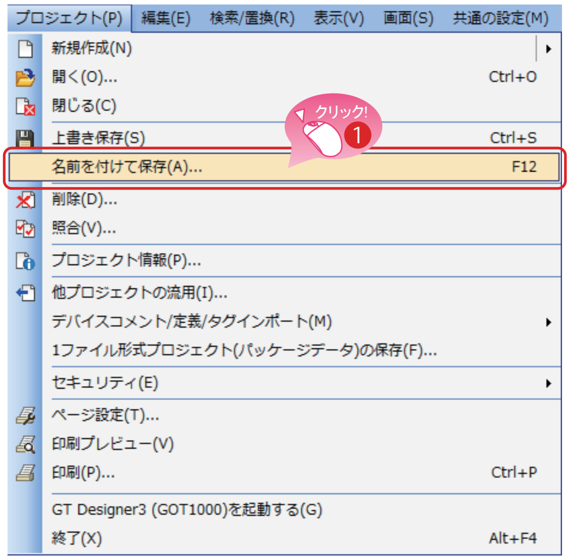
GX Works2 の GX Simulator2 を終了します。



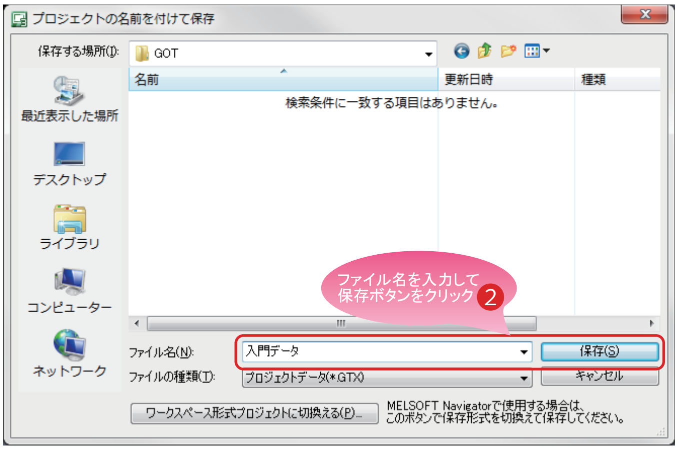
⓫ GX Works2 のメニューバーの [デバッグ] → [シミュレーション開始 / 停止] を選択します。

6-1 プロジェクトを保存する

1. 作成した画面を保存する



❶ メニューバーの [プロジェクト] →
[名前を付けて保存] を選択します。



❷ ファイルを名を入力して，[保存] ボタンを
クリックすると，保存されます。

2. ファイルの種類

プロジェクトは下記の形式で保存できます。

- ワークスペース形式
- 1 ファイル形式 (*.GTX)
- システムアプリケーション付きの 1 ファイル形式 (*.GTXS)

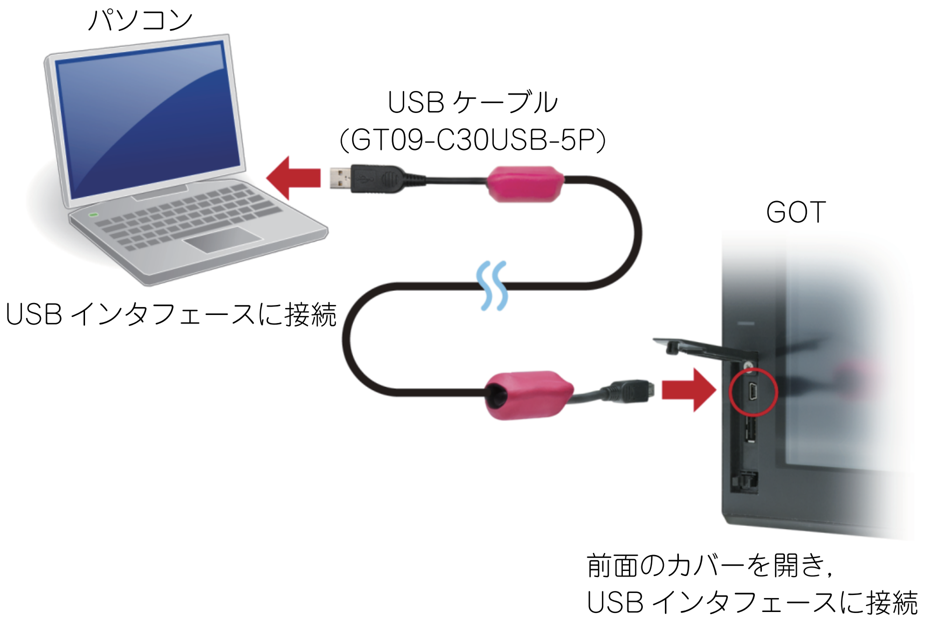
参照

本書では，1 ファイル形式 (*.GTX) のプロジェクトで説明しています。
各保存形式の詳細は，ヘルプまたは，GT Designer3 (GOT2000) 画面設計マニュアルを参照してください。

1-1 プロジェクトデータを転送する

1. パソコンと GOT を接続する

USB ケーブルでパソコンと GOT を接続します。

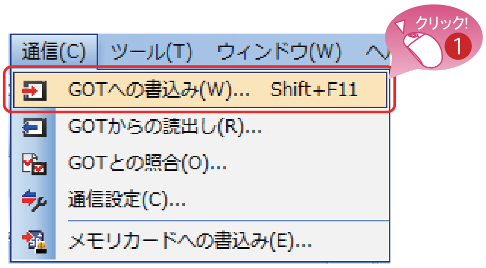


＊ GOT と USB 通信を行うには，USB ドライバのインストールが必要です。
初回接続時にパソコンに USB ドライバが自動でインストールされます。
USB ケーブル以外の接続方法，SD カードを使用したデータ転送もできます。

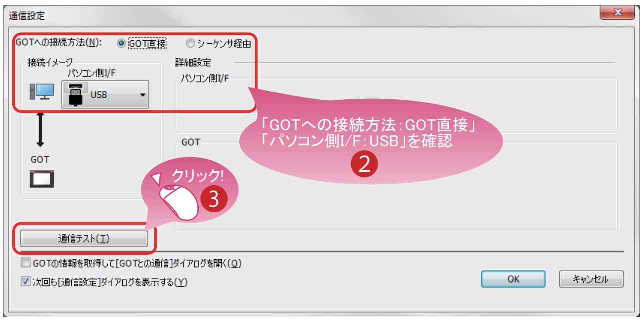
参照 USB ケーブル以外の接続方法，SD カードを使用したデータ転送については，
ヘルプまたは，GT Designer3(GOT2000) 画面設計マニュアルを参照してください。

2. 通信設定をする

パソコンと GOT の通信設定をします。
設定の前に GOT の電源を入れてください。



❶ メニューバーの [通信] →
[GOT への書き込み] を選択します。

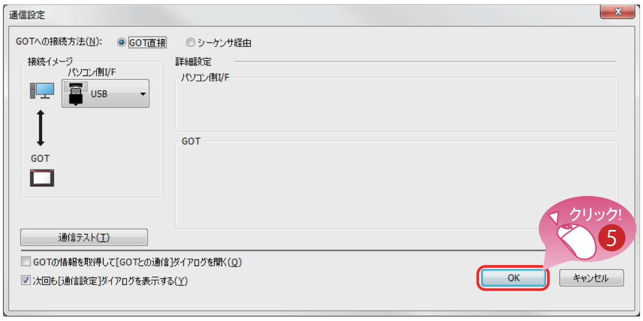


❷ 設定が下記となっていることを確認します。
GOT への接続方法：GOT 直接
パソコン側 I/F　　：USB

接続できるか，通信テストを実施します。

❸ [通信テスト] ボタンをクリックします。

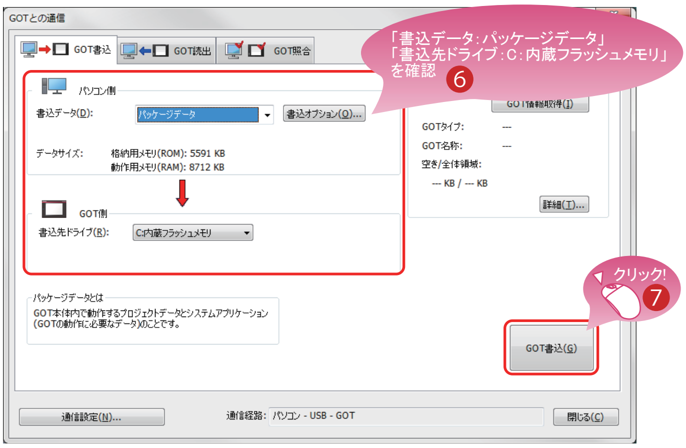
❹「接続に成功しました。」と表示されたら [OK]
ボタンをクリックします。



❺ [OK] ボタンをクリックします。

3. プロジェクトデータの転送

パソコンから GOT へプロジェクトデータを転送します。

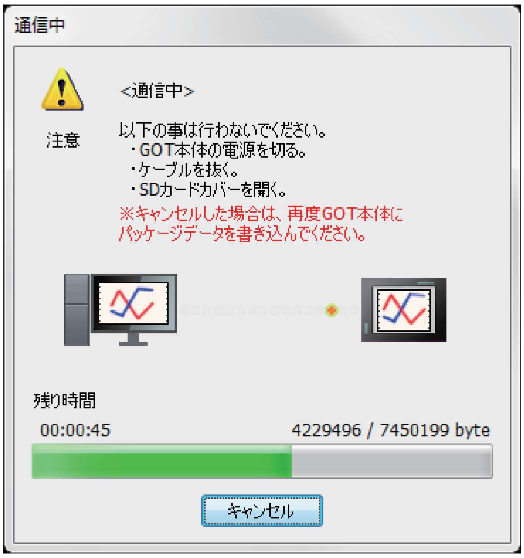


❻ 設定が下記となっていることを確認します。
書込データ　　：パッケージデータ
書込先ドライブ：C：内蔵フラッシュメモリ

❼ [GOT 書込] ボタンをクリックします。

書き込みを確認するダイアログが表示されます。

❽ [はい] ボタンをクリックすると書き込みを開始します。



書き込み中は左記ダイアログを表示します。
以下の事は行わないでください。

- GOT 本体の電源を切る。
- ケーブルを抜く。
- SD カードカバーを開く。

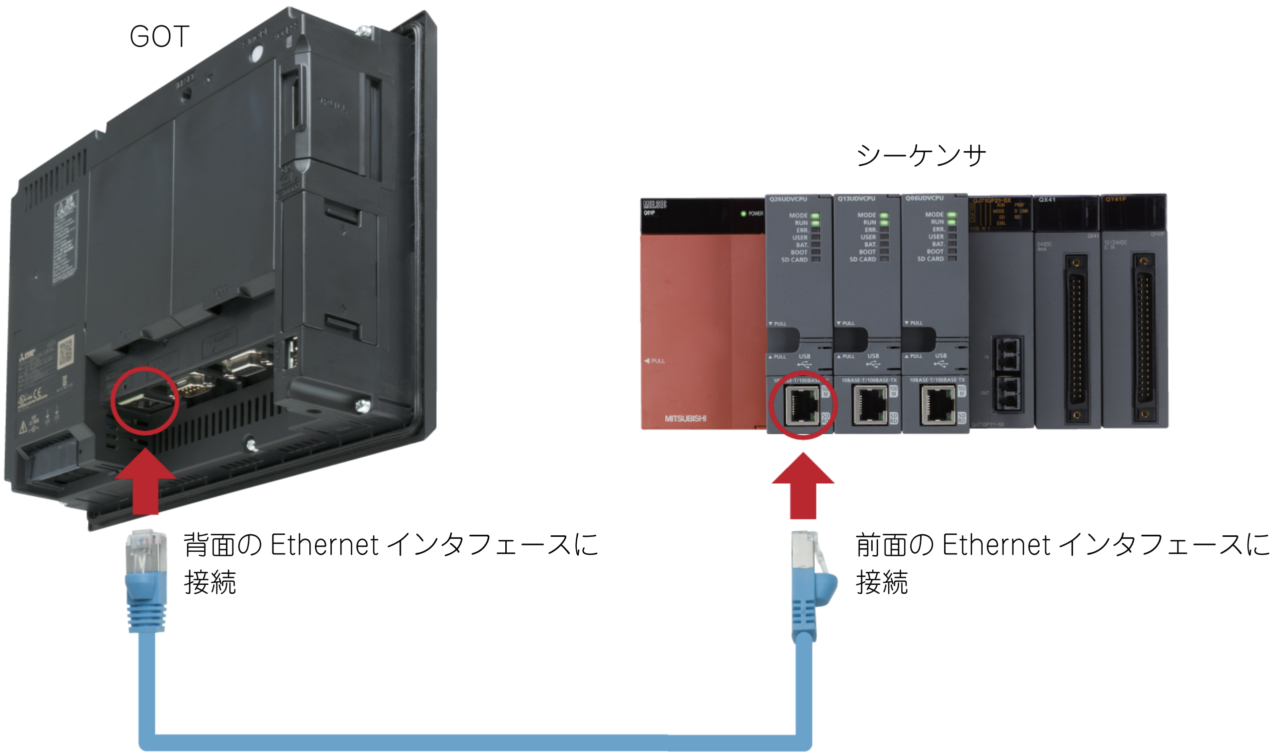
❾ 書き込みが完了すると，ダイアログが表示されるので，[OK] ボタンをクリックします。

2-1 GOT とシーケンサを接続する

1. GOT とシーケンサを接続する

GOT とシーケンサを接続します。
作業の前に GOT とシーケンサの電源が OFF になっていることを確認してください。

確認したら，GOT とシーケンサを Ethernet ケーブルで接続して，GOT とシーケンサの電源を ON にします。



言語選択画面が表示されるので，[日本語] をタッチしてください。

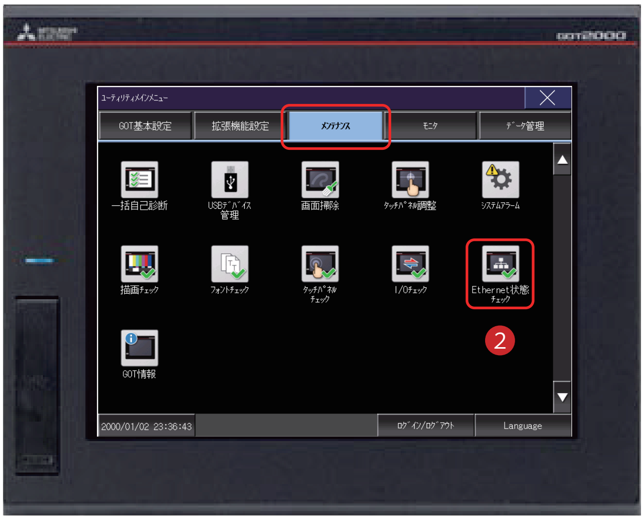
2. 接続状態を確認する

GOT の Ethernet 状態チェックで，GOT とシーケンサが通信できるか確認します。
Ethernet 状態チェックは，ping を送信して Ethernet 上の機器との接続状態をチェックする機能です。
確認の前に GOT とシーケンサの電源が ON になっていることを確認してください。

❶ 起動した GOT のユーティリティ呼び出しキーをタッチして，ユーティリティメインメニューを表示させます。

ユーティリティ呼び出しキーの位置は，GT Designer3 で未設定の場合は，GOT の画面左上隅 (長押し 2 秒) です。

ユーティリティメインメニューを表示します。



❷ ユーティリティメインメニューから
[メンテナンス] → [Ethernet 状態チェック]
をタッチします。

❸ 相手先の IP アドレスを設定し，[Ping 送信]
ボタンをタッチします。

本書では，相手先 IP アドレスは，
192.168.3.39 (デフォルト) です。
相手先の IP アドレスは，GT Designer3 の
メニューバーの [共通の設定] → [接続機器の
設定] の [Ethernet 設定] で確認・変更できま
す。

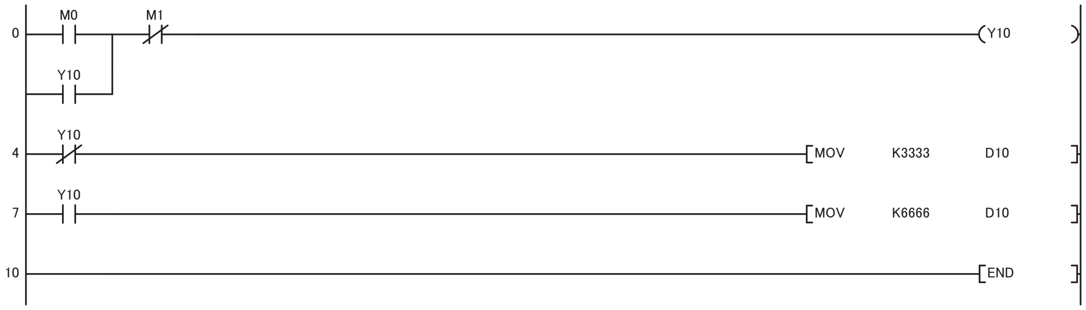
通信に問題がなければ，「応答がありました。」と
表示されます。

❹ [OK] ボタンをタッチします。

❺ [×] ボタンをタッチすると，作成した画面が
表示されます。

3. シーケンスプログラムをシーケンサへ書き込む

シミュレータで確認時に準備したシーケンスプログラムを，GX Works2 からシーケンサに書込みます。



1-1 スイッチの ON/OFF を確認する

スイッチをタッチして動作を確認しましょう。

作成した画面を表示します。
設定した各オブジェクトの動作は，下記になります。

(1) 運転スイッチ
タッチすると，運転を開始 (M0 が ON) します。

(2) 停止スイッチ
タッチすると，運転を停止 (M1 が ON) します。

(3) 運転中ランプ
運転中 (M0 が ON 中) ：点灯 (Y10 が ON) します。(シーケンスプログラムによって Y10 が ON されます)
停止中 (M1 が ON 中) ：消灯 (Y10 が OFF) します。(シーケンスプログラムによって Y10 が OFF されます)

(4) データ 1 (数値表示)
運転中 (M0 が ON 中)：6666 を表示します。(シーケンスプログラムによって D10 に 6666 が格納されます)
停止中 (M1 が ON 中)：3333 を表示します。(シーケンスプログラムによって D10 に 3333 が格納されます)

❶ 運転スイッチをタッチすると，運転中ランプが点灯し，データ 1 に 6666 と表示されます。

❷ 停止スイッチをタッチすると，運転中ランプが消灯し，データ 1 に 3333 と表示されます。

2-1 画面ジェスチャ機能を使う

画面ジェスチャ機能では，モニタ画面を拡大・縮小することができます。

❶ 画面ジェスチャモード切り換えスイッチをタッチします。

❷ 拡大・縮小できる領域が赤線で囲われます。

❸ この領域内を，ピンチアウト・ピンチインすると，画面を拡大・縮小することができます。

4 画面ジェスチャモードを解除するには，画面ジェスチャモード切り換えスイッチをタッチします。
拡大された表示のまま，画面ジェスチャモードが解除されます。

5 表示をもとに戻すには，原寸表示 (100%) スイッチをタッチします。
画面ジェスチャモード中の場合は，画面ジェスチャモードが解除され，原寸で表示されます。

1 流用作成機能

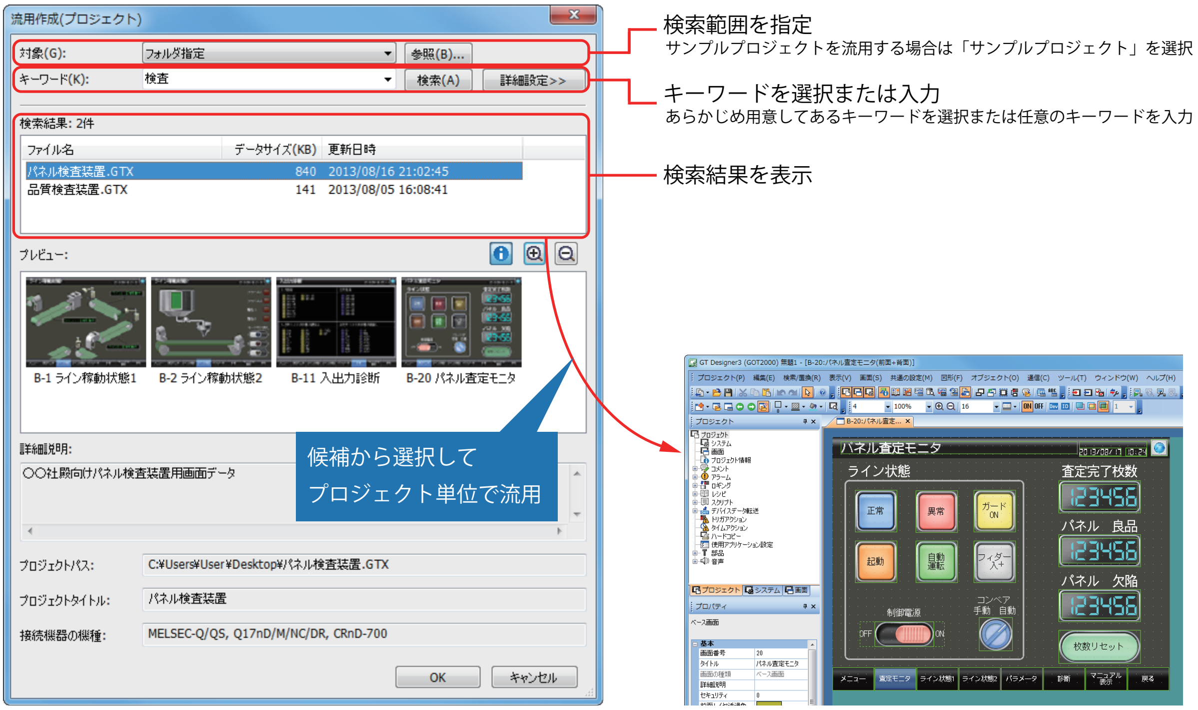
画面資産を有効活用して，効率よく画面作成できる！

キーワードなどの条件を指定して，作成済みプロジェクトやあらかじめ用意してあるサンプルプロジェクトから流用する候補を検索できます。
プロジェクトの設定内容を把握していなくても，候補から選択・流用することで，効率よく画面を作成できます。
数多い画面資産を有効活用できます。

1. 新規作成時にプロジェクトをまるごと流用

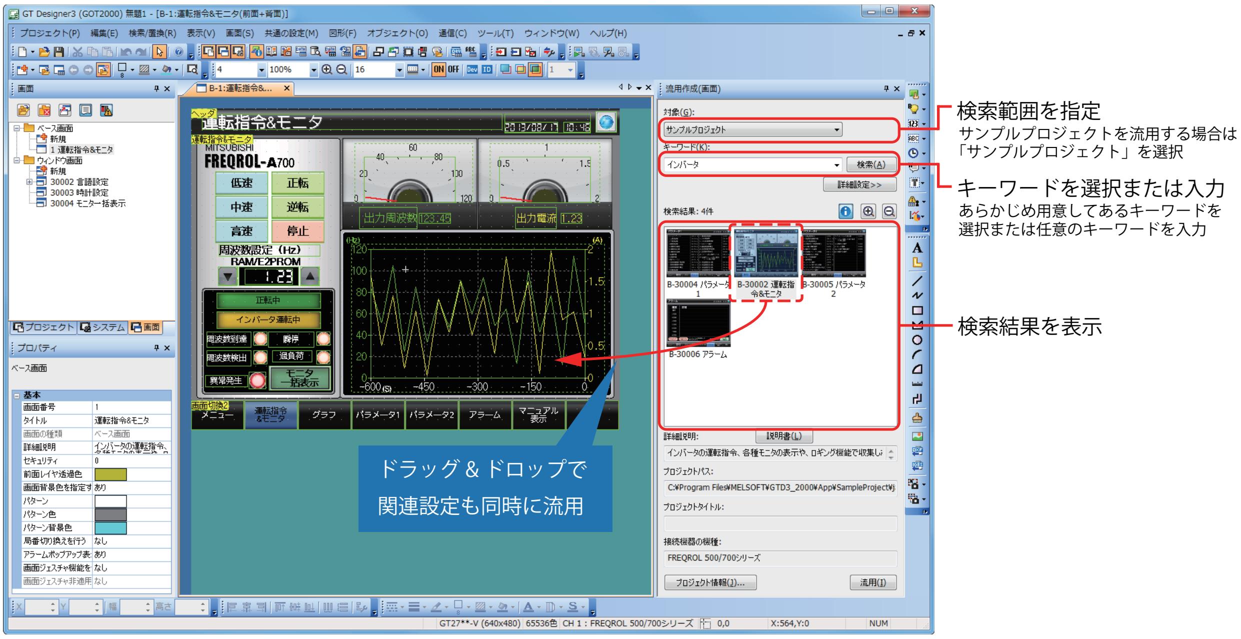
プロジェクトを新規作成時に，数多い画面資産の中から最適なプロジェクトを選び，効率よくプロジェクトを作成できます。
流用元の検索範囲を指定したり，あらかじめ用意してあるキーワードまたは任意のキーワードで検索できます。

メニューバーの [プロジェクト] → [新規作成] → [流用作成] を選択します。

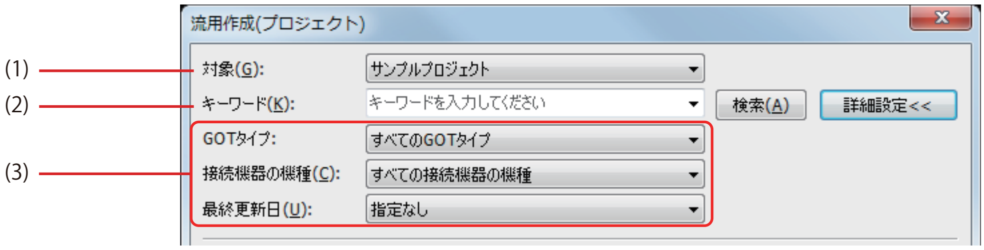


2. 画面追加時にピンポイントで画面流用

作成済みプロジェクトやあらかじめ用意してあるサンプルプロジェクトの中から画面単位で流用できます。
画面ごとの関連設定 (コメントデータ，ロギング設定など) も同時に流用できるため簡単にプロジェクトを作成できます。
メニューバーの [画面] → [新規作成] → [流用作成] を選択します。



3. 流用するプロジェクトの検索



(1) 検索対象
検索範囲を指定できます。
- サンプルプロジェクト
- 最近使用したプロジェクト
- フォルダ指定 (3 階層下のフォルダまで検索)

(2) 検索キーワード
あらかじめ用意してあるキーワードを選択または任意のキーワードを入力して検索できます。
プロジェクト流用の場合，ファイル名，プロジェクト情報 (プロジェクトタイトル，詳細説明，作成者) から検索します。
プロジェクト作成時に，プロジェクト情報にキーワードとなる文字列や説明を入力しておくと検索しやすく便利です。
画面流用の場合，ファイル名，画面タイトル，画面の詳細情報，オブジェクト名称，図形名称，テンプレート名称から検索します。

(3) 絞り込み
GOT タイプ，接続機器の種類，最終更新日で絞り込みができるため，流用したいデータをすぐに見つけることができます。

2 入力アシスト機能

デバイス設定をよりスムーズに！

デバイス設定時に，設定済みのデバイスやデバイスコメント / デバイス定義の中から入力候補を表示します。

1. 設定済みのデバイスの中から候補を表示

① デバイス名を入力

② プロジェクトで設定済みのデバイスや最近設定したデバイス履歴の中から入力したデバイス名に該当するデバイスを表示

③ 候補から選択してデバイスを設定

デバイス設定ダイアログでデバイス名を入力すると，設定デバイスの候補を表示します。デバイスコメント・デバイス定義も表示されるため，確認しながらデバイスを設定できます。

2. デバイスコメント / デバイス定義の中から候補を表示

デバイス設定ダイアログでキーワードを入力すると，設定デバイスの候補を表示します。
デバイスコメントやデバイス定義からデバイスを検索して設定できます。

(1)　デバイスコメント

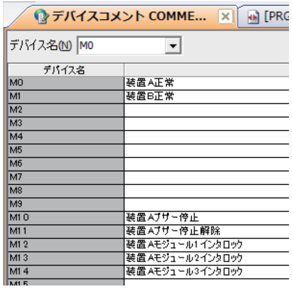
GX Works2/GX Developer で設定したデバイスコメント

① デバイス名を入力

② キーワードを入力

③ GX Works2 で設定したデバイスコメントの中から入力したキーワードに該当するデバイスを表示

④ 候補から選択してデバイスを設定



(2)　デバイス定義

① キーワードを入力

② GOT 内部デバイスの機能名や接続機器 (サーボ，シーケンサなど) の特殊デバイスのデバイス定義の中から入力したキーワードに該当するデバイスを表示

③ " GB40 常時 ON " を選択

④ デバイス設定完了

ヒント

- 検索対象
  「デバイス名とコメント / 定義」「デバイス名」「コメント / 定義」から選択できます。
- 入力キーワード
  半角スペースで区切ることで，複数のキーワードで検索・絞込できます。
  接続チャンネルは " @n " (n=1 ～ 4) で指定できます。(Ch2 M0 の場合 :@2 M0)

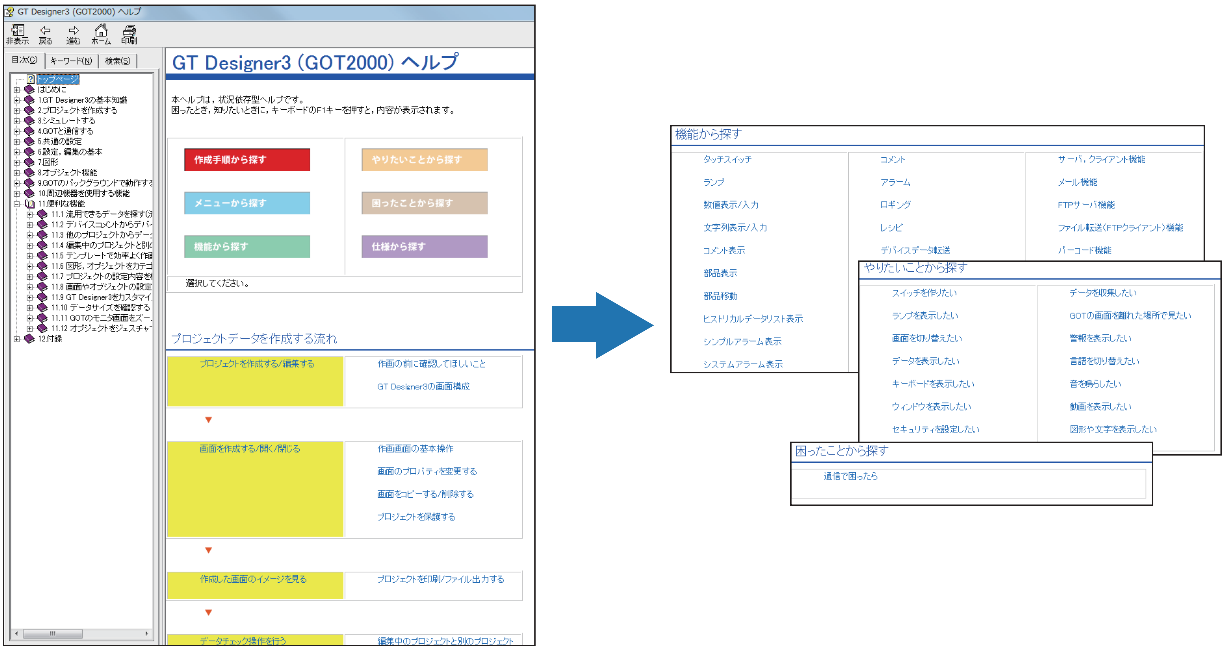
3 ヘルプ

知りたいことがすぐわかる！

充実のヘルプ機能で知りたい情報をすぐに確認できます。

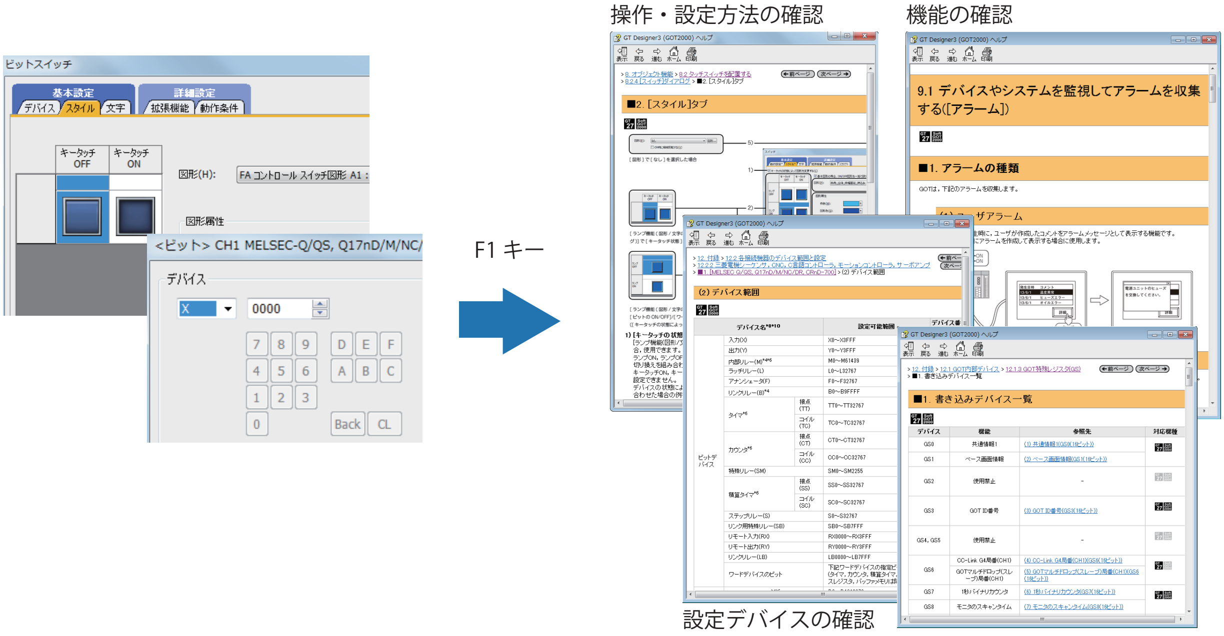
1. 状況に応じたさまざまな検索方法 (GOT2000 のみ)

機能名や仕様からだけではなく，やりたいことや困っている内容から情報を探すことができます。
メニューバーの [ヘルプ] → [GT Designer3 ヘルプ] を選択します。



2. F1 キーですぐに確認

F1 キーで編集中のダイアログのヘルプにジャンプ，設定方法などをすぐに確認できます。



機能アップデート

1. 作画ソフトウェアのアップデート

作画ソフトウェアでは，機能追加や改善を随時行なっています。
作画ソフトウェアを最新バージョンにアップデートすることで，GOT2000 をさらに便利にご使用になれます。

最新のソフトウェアは，三菱電機 FA サイトのエンジニアリングソフトウェア MELSOFT GT Works3 のダウンロード (http://www.mitsubishielectric.co.jp/fa/download/search.do) から入手することができます。

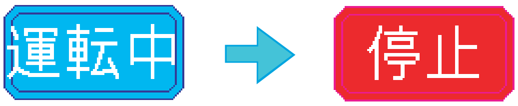
ポイント アップデートは，すでにインストールされている製品を同一形名内の最新バージョンにアップデートするものです。新規のインストールはできません。

GOT には，現場で役立つ機能がたくさんあります。
ここではいくつかの機能を紹介します。

ランプ，スイッチ

ランプ表示

ランプの点灯色を変える。



ビットスイッチ

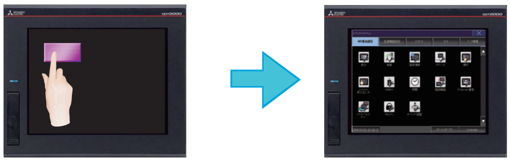
タッチしてビットデバイスをON/OFFする。

ワードスイッチ

タッチしてワードデバイスの値を変更する。

拡張機能スイッチ

タッチして画面をユーティリティなどに切り換える。

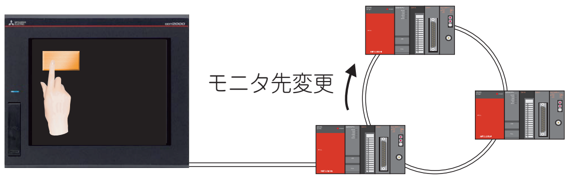


画面切り換えスイッチ

タッチしてベース，ウィンドウ画面を切り換える。

局番切り換えスイッチ

モニタする接続機器の局番を切り換える。



キーコードスイッチ

数値／文字列入力用のキーとして使用する。

キーウィンドウ表示スイッチ

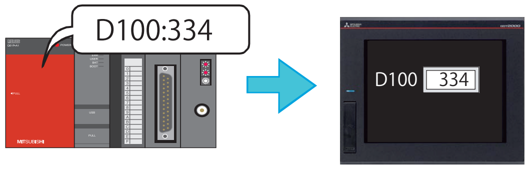
指定したキーウィンドウを指定した位置に表示して，該当するオブジェクトにカーソルを表示する。

GOT の特長
GT Designer3 の特長
機器を揃えよう
STEP1 プロジェクトを作成しよう
STEP2 プロジェクトを転送しよう
STEP3 GOT を使ってみよう
付録

数値, 文字列表示

数値表示

デバイスの値を数値で表示する。

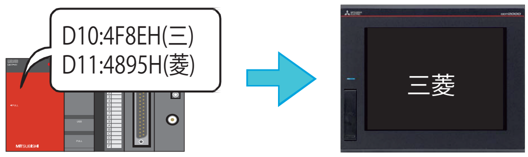


数値入力

デバイスに値を書き込む。

文字列表示

デバイスの値を文字で表示する。



文字列入力

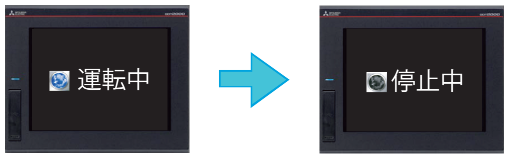
デバイスに文字コードを入力する。

時計表示

年月日／時刻を表示する。

コメント表示

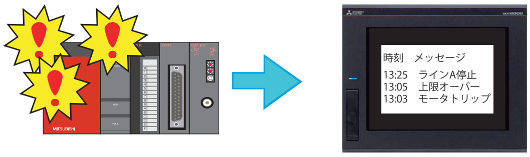
コメントを表示する。



アラーム

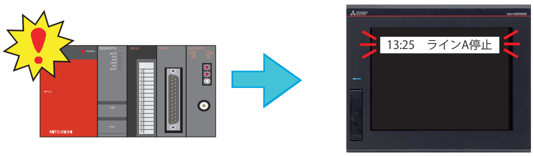
アラーム表示

アラーム発生時に, GOTのエラーや通信のエラー, ユーザで作成したメッセージを履歴表示する。
また, アラームを階層化して表示する。



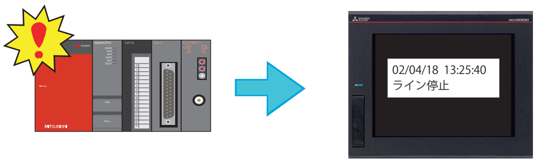
アラームポップアップ表示

アラーム発生時に, GOTのエラーや通信のエラー, ユーザで作成したメッセージをポップアップして表示する。



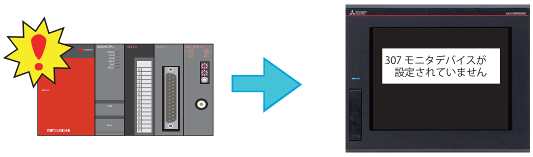
シンプルアラーム表示

アラーム発生時に, ユーザで作成したメッセージを表示する。



システムアラーム表示

アラーム発生時に, GOTのエラーや通信のエラーを表示する。



部品

部品表示

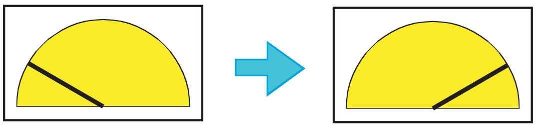
登録した部品を表示する。

部品移動

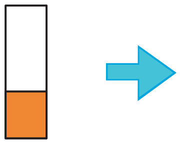
部品を移動表示する。

グラフ, メータ　※ほんの一例です。他の機能もあります。

パネルメータ表示
デバイスの値をメータで表示する。

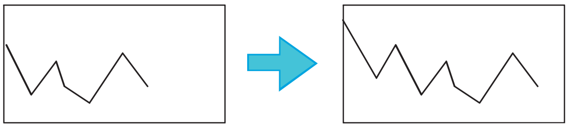


レベル表示
デバイスの値を全体に対しての比率で表示する。



統計グラフ表示
デバイスの値を全体に対しての割合でグラフ表示する。

ヒストリカルトレンドグラフ表示
ロギング機能で収集した現在から過去のデータをトレンドグラフで表示する。



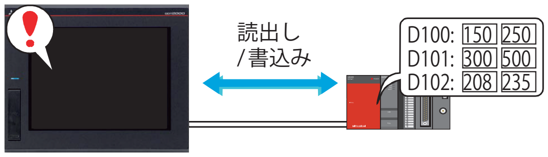
スライダー

スライダー
任意の設定範囲で, 連続する値をスライダーで入力する。
つまみを移動した先の値をデバイスに入力する。

スライダーで設定出力を変更

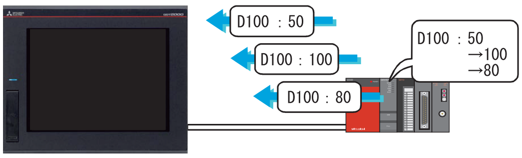
レシピ

レシピ機能
デバイスの状態を監視して, 条件成立時にデバイス値の読出し／書込みを行う。
1つのデバイスに複数の値を設定できる。
ユーティリティでもデバイス値の読出し／書込みが可能。

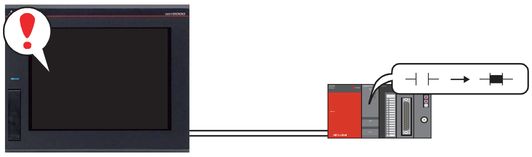


条件 → 動作　※ほんの一例です。他の機能もあります。

ロギング機能
デバイスの値を収集し, 蓄積する。



タイムアクション機能
指定した日時にデバイスの書込みなどをする。

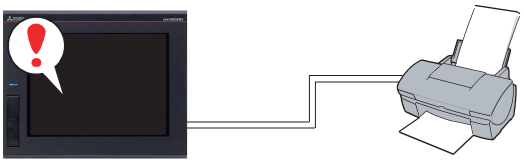


外部入出力

※ほんの一例です。他の機能もあります。

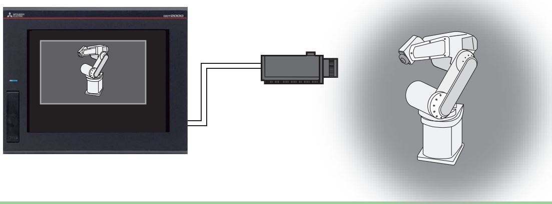
レポート

生産管理や生産状況などのデータを
収集して，収集したデータ内容を印字する。



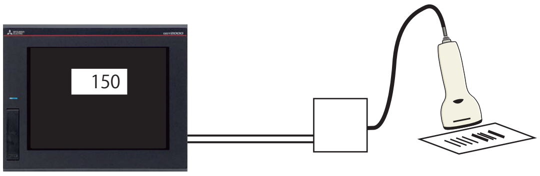
ビデオ表示

ビデオ映像を表示する。



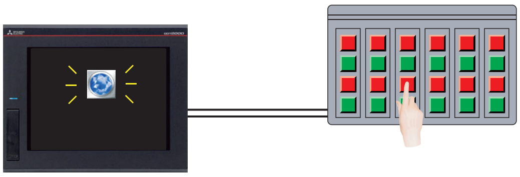
バーコード

バーコードリーダで読み込んだデータを
デバイスに書き込む。



操作パネル

操作パネルを使用して，デバイスの書き込み
を行う。

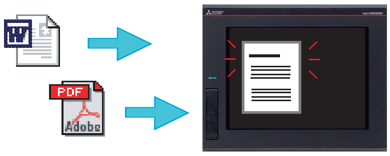


その他

※ほんの一例です。他の機能もあります。

ドキュメント表示

ドキュメントのデータをGOTに表示する。



言語切り換え

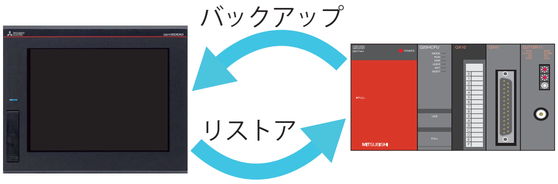
複数の言語を切り換えて表示する。

デバイスモニタ

シーケンサのデバイス状態をモニタする。

バックアップ／リストア

接続機器の設定内容をバックアップしたり，
GOTからリストアする。



付録 4 関連するカタログ・マニュアル一覧

GOT2000 シリーズ関連カタログ

カタログ名称	カタログ番号
三菱 iQ Platform 対応グラフィックオペレーションターミナル GOT2000 シリーズカタログ	L(名)08268
三菱 iQ Platform 対応グラフィックオペレーションターミナル 画面作成ソフトウェア MELSOFT GT Works3	L(名)08157

GOT2000 シリーズ関連マニュアル

マニュアル名称	同梱 / 別売	形名コード	価格
GOT2000 シリーズ本体取扱説明書（ハードウェア編）	DVD-ROM に格納	1D7MI6	￥3,000
GOT2000 シリーズ本体取扱説明書（ユーティリティ編）	DVD-ROM に格納	1D7MI7	￥3,000
GOT2000 シリーズ本体取扱説明書（モニタ編）	DVD-ROM に格納	1D7MI8	￥4,000
GOT2000 シリーズ接続マニュアル（三菱電機機器接続編）GT Works3 Version1 対応	DVD-ROM に格納	1D7MI9	￥4,000
GT Designer3 (GOT2000) 画面設計マニュアル	DVD-ROM に格納	1D7ML8	￥10,000

※ 上記マニュアル (PDF) は，作画ソフトウェアとともにインストールできます。

商標、登録商標について
本文中における製品名、社名はそれぞれの会社の商標、または登録商標です。

写真の色等は印刷のため、実物と若干異なる場合があります。
また画面においても、はめ込み合成のため実際の表示と異なる場合があります。

三菱 グラフィックオペレーションターミナル GOT2000シリーズ クイックスタートガイド

三菱電機株式会社 〒100-8310 東京都千代田区丸の内2-7-3(東京ビル)

お問い合わせは下記へどうぞ

本社機器営業部	〒100-8310	東京都千代田区丸の内2-7-3(東京ビル)	(03) 3218-6760
北海道支社	〒060-8693	札幌市中央区北二条西4-1(北海道ビル)	(011) 212-3794
東北支社	〒980-0011	仙台市青葉区上杉1-17-7(仙台上杉ビル)	(022) 216-4546
関越支社	〒330-6034	さいたま市中央区新都心11-2(明治安田生命さいたま新都心ビル)	(048) 600-5835
新潟支店	〒950-8504	新潟市中央区東大通2-4-10(日本生命ビル)	(025) 241-7227
神奈川支社	〒220-8118	横浜市西区みなとみらい2-2-1(横浜ランドマークタワー)	(045) 224-2624
北陸支社	〒920-0031	金沢市広岡3-1-1(金沢パークビル)	(076) 233-5502
中部支社	〒451-8522	名古屋市西区牛島町6-1(名古屋ルーセントタワー)	(052) 565-3314
豊田支店	〒471-0034	豊田市小坂本町1-5-10(矢作豊田ビル)	(0565) 34-4112
関西支社	〒530-8206	大阪市北区堂島2-2-2(近鉄堂島ビル)	(06) 6347-2771
中国支社	〒730-8657	広島市中区中町7-32(ニッセイ広島ビル)	(082) 248-5348
四国支社	〒760-8654	高松市寿町1-1-8(日本生命高松駅前ビル)	(087) 825-0055
九州支社	〒810-8686	福岡市中央区天神2-12-1(天神ビル)	(092) 721-2247

三菱 FA　検索

www.MitsubishiElectric.co.jp/fa

メンバー登録無料!

インターネットによる情報サービス「三菱電機FAサイト」

三菱電機FAサイトでは、製品や事例などの技術情報に加え、トレーニングスクール情報や各種お問い合わせ窓口をご提供しています。また、メンバー登録いただくとマニュアルやCADデータ等のダウンロード、eラーニングなどの各種サービスをご利用いただけます。

電話技術相談窓口 受付時間※1　月曜～金曜 9:00～19:00、土曜・日曜・祝日 9:00～17:00

対象機種			電話番号
シーケンサ	MELSEC-Q/L/QnA/Aシーケンサ一般(下記以外)		052-711-5111
	MELSEC-F　FX/Fシーケンサ全般		052-725-2271※2
	ネットワークユニット/シリアルコミュニケーションユニット		052-712-2578
	アナログユニット/温調ユニット/温度入力ユニット/高速カウンタユニット		052-712-2579
	MELSOFT シーケンサプログラミングツール	MELSOFT GXシリーズ	052-711-0037
		SW□IVD-GPPA/GPPQなど	
	MELSOFT 統合エンジニアリング環境	MELSOFT iQ Works(Navigator)	052-712-2370
	MELSOFT 通信支援ソフトウェアツール	MELSOFT MXシリーズ	
		SW□D5F-CSKP/OLEX/XMOPなど	
	MELSECパソコンボード	Q80BDシリーズなど	
	C言語コントローラ/MESインタフェースユニット/高速データロガーユニット		
	iQ Sensor Solution		
	MELSEC計装/Q二重化	プロセスCPU	052-712-2830※2
		二重化CPU	
		MELSOFT PXシリーズ	
	MELSEC Safety	安全シーケンサ(MELSEC-QSシリーズ)	052-712-3079※2
		安全コントローラ(MELSEC-WSシリーズ)	
	電力計測ユニット/絶縁監視ユニット	QE8□シリーズ	052-719-4557※2※3
表示器		GOT-F900/DUシリーズ	052-725-2271※2
		GOT2000/1000/A900シリーズなど	052-712-2417
		MELSOFT GTシリーズ	
MELQIC		IU1/IU2シリーズ	079-298-9440※4

対象機種		電話番号
サーボ/位置決めユニット/モーションコントローラ	MELSERVOシリーズ	052-712-6607
	位置決めユニット/シンプルモーションユニット	
	モーションCPU(Q/Aシリーズ)	
	C言語コントローラインタフェースユニット(Q173SCCF)/ポジションボード	
	MELSOFT MTシリーズ/MRシリーズ	
センサレスサーボ	FR-E700EX/MM-GKR	052-722-2182
インバータ	FREQROLシリーズ	052-722-2182
三相モータ	三相モータ225フレーム以下	0536-25-0900※3※5
ロボット	MELFAシリーズ	052-721-0100
低圧開閉器	MS-Tシリーズ/MS-Nシリーズ	052-719-4170
	US-Nシリーズ	
低圧遮断器	ノーヒューズ遮断器/漏電遮断器/MDUブレーカ/気中遮断器(ACB)など	052-719-4559
電力管理用計器	電力量計/計器用変成器/指示電気計器/管理用計器/タイムスイッチ	052-719-4556
省エネ支援機器	EcoServer/E-Energy/検針システム/エネルギー計測ユニット/B/NETなど	052-719-4557※2※3
小容量UPS(5kVA以下)	FW-Sシリーズ/FW-Vシリーズ/FW-Aシリーズ/FW-Fシリーズ	084-926-8300※3※6

※1:春季・夏季・年末年始の休日を除く　※2:金曜は17:00まで　※3:土曜・日曜・祝日を除く　※4:月曜～金曜の9:00～17:00
※5:月曜～木曜の9:00～17:00と金曜の9:00～16:30　※6:月曜～金曜の9:00～16:30

FAX技術相談窓口 受付時間※7 9:00～16:00(受信は常時※8)

対象機種	FAX番号
上記電話技術相談対象機種(下記以外)	052-719-6762
電力計測ユニット/絶縁監視ユニット(QE8□シリーズ)	084-926-8340
三相モータ225フレーム以下	0536-25-1258※9
低圧開閉器	0574-61-1955
低圧遮断器	084-926-8280
電力管理用計器/省エネ支援機器/小容量UPS(5kVA以下)	084-926-8340

三菱電機FAサイトの「仕様・機能に関するお問い合わせ」もご利用ください。
※7:土曜・日曜・祝日、春季・夏季・年末年始の休日を除く　※8:春季・夏季・年末年始の休日を除く
※9:月曜～木曜の9:00～17:00と金曜の9:00～16:30　(受信は常時(春季・夏季・年末年始の休日を除く))

この製品を製造している三菱電機(株)名古屋製作所および姫路製作所は、環境マネジメントシステムISO14001、および品質システムISO9001の認証取得工場です。

EC97J1113　051　EC97J1234　051　008

L(名)08300-A　1407(MEE)

この印刷物は、2014年7月の発行です。なお、この印刷物に掲載した内容は、改善のために予告なく変更する場合がありますので、ご採用の節には、事前に弊社までお問い合わせください。

2014年7月作成